

1 次の計算をしましょう。(とちゅうの式も書きましょう。)

(1) $16 - (12 + 4)$

(2) $(16 - 12) + 4$

(3) $(16 \div 8) \times 2$

(4) $16 \div (8 \times 2)$

2 次の計算をしましょう。(とちゅうの式も書きましょう。)

(1) $16 + 8 \times 2$

(2) $16 - 8 \times 2$

(3) $16 \div 8 - 2$

(4) $16 - 8 \div 2$

3 1, 2の問題を計算するためのきまりをまとめましょう。

--

小4 算数「四則計算」1 かい答・かい説

1 次の計算をしましょう。(とちゅうの式も書きましょう。)

$$\begin{aligned}(1) \quad 16 - \underbrace{(12 + 4)}_{\text{ここを先に計算}} \\ = 16 - 16 \\ = 0\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(2) \quad \underbrace{(16 - 12)}_{\text{ここを先に計算}} + 4 \\ = 4 + 4 \\ = 8\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(3) \quad \underbrace{(16 \div 8)}_{\text{ここを先に計算}} \times 2 \\ = 2 \times 2 \\ = 4\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(4) \quad 16 \div \underbrace{(8 \times 2)}_{\text{ここを先に計算}} \\ = 16 \div 16 \\ = 1\end{aligned}$$

2 次の計算をしましょう。(とちゅうの式も書きましょう。)

$$\begin{aligned}(1) \quad 16 + \underbrace{8 \times 2}_{\text{ここを先に計算}} \\ = 16 + 16 \\ = 32\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(2) \quad 16 - \underbrace{8 \times 2}_{\text{ここを先に計算}} \\ = 16 - 16 \\ = 0\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(3) \quad \underbrace{16 \div 8}_{\text{ここを先に計算}} - 2 \\ = 2 - 2 \\ = 0\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(4) \quad 16 - \underbrace{8 \div 2}_{\text{ここを先に計算}} \\ = 16 - 4 \\ = 12\end{aligned}$$

3 1, 2の問題を計算するためのきまりをまとめましょう。

(例)

- ・ () の中を先に計算する。
- ・ +, - と ×, ÷ のまじった式は, ×, ÷ を先に計算する。

【ポイント】

- ・ ふだんの授業から「自分の言葉で」まとめる習慣をつけましょう。

1 次の(1)～(3)の計算は、まちがっています。正しい計算と答えをかき、まちがったわけを説明しましょう。

(1) $20 + 15 \div 5$

【まちがった計算】

$$\begin{aligned} &20 + 15 \div 5 \\ &= 35 \div 5 \\ &= 7 \end{aligned}$$

【正しい計算】

$$20 + 15 \div 5$$

【まちがったわけ】

(2) $24 \div 2 - 3 \times 4$

【まちがった計算】

$$\begin{aligned} &24 \div 2 - 3 \times 4 \\ &= 12 - 3 \times 4 \\ &= 9 \times 4 \\ &= 36 \end{aligned}$$

【正しい計算】

$$24 \div 2 - 3 \times 4$$

【まちがったわけ】

(3) $13 - (6 + 3)$

【まちがった計算】

$$\begin{aligned} &13 - (6 + 3) \\ &= 7 + 3 \\ &= 10 \end{aligned}$$

【正しい計算】

$$13 - (6 + 3)$$

【まちがったわけ】

2 次の計算をしましょう。

(1) $(20 - 10) + 2$

(2) $20 - (10 + 2)$

(3) $(20 - 10) \div 2$

(4) $20 - 10 \div 2$

(5) $20 \div 10 \times 2$

(6) $20 \div (10 \times 2)$

小4 算数「四則計算」2 かい答・かい説

1 次の(1)～(3)の計算は、まちがっています。正しい計算と答えをかき、まちがったわけを説明しましょう。

(1) $20 + 15 \div 5$

【まちがった計算】 $20 + 15 \div 5$ $= 35 \div 5$ $= 7$	【正しい計算】 $20 + \underline{15 \div 5}$ ここを先に計算 $= 20 + 3$ $= 23$	【まちがったわけ】 $15 \div 5$ を先に計算していないから。
--	--	---

(2) $24 \div 2 - 3 \times 4$

【まちがった計算】 $24 \div 2 - 3 \times 4$ $= 12 - 3 \times 4$ $= 9 \times 4$ $= 36$	【正しい計算】 $\underline{24 \div 2} - \underline{3 \times 4}$ ここを先に計算 ここを先に計算 $= 12 - 12$ $= 0$	【まちがったわけ】 $24 \div 2$ と 3×4 を先に計算していないから。
---	---	--

(3) $13 - (6 + 3)$

【まちがった計算】 $13 - (6 + 3)$ $= 7 + 3$ $= 10$	【正しい計算】 $13 - \underline{(6 + 3)}$ ここを先に計算 $= 13 - 9$ $= 4$	【まちがったわけ】 $()$ の中を先に計算していないから。
---	---	---

2 次の計算をしましょう。

(1) $\underline{(20 - 10)} + 2$
 $= 10 + 2$ ここを先に計算
 $= 12$

(2) $20 - \underline{(10 + 2)}$
 $= 20 - 12$ ここを先に計算
 $= 8$

(3) $\underline{(20 - 10)} \div 2$
 $= 10 \div 2$ ここを先に計算
 $= 5$

(4) $20 - \underline{10 \div 2}$
 $= 20 - 5$ ここを先に計算
 $= 15$

(5) $20 \div 10 \times 2$
 $= 2 \times 2$
 $= 4$

(6) $20 \div \underline{(10 \times 2)}$
 $= 20 \div 20$ ここを先に計算
 $= 1$

【ポイント】

「まちがった問題に×を付けることで終わり」とするのではなく、なぜまちがえたのか、どこでまちがえたのかということを意識しましょう。とくに、四則こん合計算はくり返し計算練習に取り組むことが大切です。また、 $()$ のついた式は、順じよを守って計算しましょう。

- 1 チーバくんは、近所のお店で、150円のジュースを3本買うために500円玉を出しました。おつりはいくらになりますか。式と答えを書きましょう。

(式)	(答え) 円
-----	-----------

- 2 次の□にあてはまる数を書きましょう。

$$(1) 67 \times 9 = (\square + 7) \times 9$$

$$= \square \times 9 + 7 \times 9$$

$$= \square + 63$$

$$= \square$$

$$(2) 67 \times 9 = (\square - 3) \times 9$$

$$= \square \times 9 - 3 \times 9$$

$$= \square - 27$$

$$= \square$$

- 3 下の式の□に＋，－，×，÷のどれかを入れて，式を完成させます。()を使うこともできます。

$$4 \square 4 \square 4 = 4$$

たとえば、 $4 \boxed{+} 4 \boxed{-} 4 = 4$ は答えの1つになります。そのほかの答えを3つ以上見つけましょう。

小4 算数「四則計算」3 かい答・かい説

- 1 チーバくんは、近所のお店で、150円のジュースを3本買うために500円玉を出しました。おつりはいくらになりますか。式と答えを書きましょう。

(式) $500 - 150 \times 3$ <u> </u> ここを先に計算 $= 500 - 450$ $= 50$	(答え) 50 円
---	---------------------

- 2 次の口にあてはまる数を書きましょう。

(1) $67 \times 9 = (\boxed{60} + 7) \times 9$	(2) $67 \times 9 = (\boxed{70} - 3) \times 9$
$= \boxed{60} \times 9 + 7 \times 9$	$= \boxed{70} \times 9 - 3 \times 9$
$= \boxed{540} + 63$	$= \boxed{630} - 27$
$= \boxed{603}$	$= \boxed{603}$

- 3 下の式の口に＋，－，×，÷のどれかを入れて、式を完成させます。() を使うこともできます。

$$4 \square 4 \square 4 = 4$$

たと 例えば、 $4 \boxed{+} 4 \boxed{-} 4 = 4$ は答えの1つになります。そのほかの答えを3つ以上見つけましょう。

(答え) $4 - 4 + 4 = 4$ $4 \div 4 \times 4 = 4$ $4 \times 4 \div 4 = 4$

$4 + (4 - 4) = 4$ $4 - (4 - 4) = 4$ $4 \div (4 \div 4) = 4$

$4 \times (4 \div 4) = 4$

【ポイント】

いくつかの解答を見つけてみましょう。同じような問題で、

$4 \square 4 \square 4 \square 4$ の計算では、答えが0～9までの数を作ることができます。

チャレンジしてみましょう。(答えは1つとはかぎりません)

1 次の計算をしましょう。

(1) $420 \div 7$

(2) $3000 \div 5$

2 筆算で計算しましょう。

(1) $36 \div 2$

A blank 5x5 grid with dashed lines for handwriting practice. The grid is composed of solid lines forming the outer border and dashed lines for internal divisions. The first row is designated for uppercase letters, and the second row is for lowercase letters. The remaining three rows are for general writing practice. The grid is currently empty, with only a small black mark visible in the second row, first column.

(2) $77 \div 3$

(3) $82 \div 4$

(4) $96 \div 4$

(5) $86 \div 5$

(6) $60 \div 6$

3 58まいの色紙を、1人に3まいずつ配ると、何人に分けられて、何まいあまりますか。答えのたしかめもしましょう。

(式)

答え

答えのたしかめ

(式)

【筆算】

小4 算数「1けたでわるわり算の筆算」1 かい答・かい説

1 次の計算をしましょう。

(1) $420 \div 7 = 60$

$\div 10 \rightarrow \downarrow$ $42 \div 7 = 6$ $\uparrow \times 10$

(2) $3000 \div 5 = 600$

$\div 100 \rightarrow \downarrow$ $30 \div 5 = 6$ $\uparrow \times 100$

2 筆算で計算しましょう。

(1) $36 \div 2$

(2) $77 \div 3$

(3) $82 \div 4$

☆わり算の筆算は大きい位から計算します。

	1	8
2	3	6
	2	
	1	6
	1	6
		0

☆あまりは、わる数よりも小さくなります。

	2	5
3	7	7
	6	
	1	7
	1	5
		2

☆商に0がたつときは計算を省くことができます。

	2	0
4	8	2
	8	
		2
		0
		2

$$\begin{array}{r} 20 \\ 4 \overline{) 82} \\ \underline{8} \\ 2 \end{array}$$

(4) $96 \div 4$

(5) $86 \div 5$

(6) $60 \div 6$

	2	4
4	9	6
	8	
	1	6
	1	6
		0

	1	7
5	8	6
	5	
	3	6
	3	5
		1

	1	0
6	6	0
	6	
		0
		0
		0

☆商に0がたつときは計算を省くことができます。

$$\begin{array}{r} 10 \\ 6 \overline{) 60} \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$$

3 58まいの色紙を、1人に3まいずつ配ると、何人に分けられて、何まいあまりますか。答えのたしかめをしましょう。

(式) $58 \div 3 = 19 \text{ あまり } 1$

答え 19人に分けられて、1まいあまる。

答えのたしかめ

(式) $\boxed{3} \times \boxed{19} + \boxed{1} = \boxed{58}$

わる数 商 あまり わられる数

【筆算】

	1	9
3	5	8
	3	
	2	8
	2	7
		1

1 次の計算を筆算でしましょう。

(1) $894 \div 6$

(2) $725 \div 3$

(3) $549 \div 5$

(4) $328 \div 5$

(5) $244 \div 8$

(6) $707 \div 7$

2 暗算でしましょう。

(1) $64 \div 4$

(2) $240 \div 2$

3 □にあてはまる数を書きましょう。

(1)

$$\begin{array}{r} \square 1 \\ \square \overline{) 32\square} \\ \underline{32} \\ \square \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$$

(2)

$$\begin{array}{r} 76 \\ 2 \overline{) \square 5 \square} \\ \underline{14} \\ 1\square \\ \underline{12} \\ 1 \end{array}$$

小4 算数「1けたでわるわり算の筆算」2 かい答・かい説

1 次の計算を筆算でしましょう。

(1) $894 \div 6$

$$\begin{array}{r} 149 \\ 6 \overline{) 894} \\ \underline{6} \\ 29 \\ \underline{24} \\ 54 \\ \underline{54} \\ 0 \end{array}$$

(2) $725 \div 3$

$$\begin{array}{r} 241 \\ 3 \overline{) 725} \\ \underline{6} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 5 \\ \underline{3} \\ 2 \end{array}$$

(3) $549 \div 5$

$$\begin{array}{r} 109 \\ 5 \overline{) 549} \\ \underline{5} \\ 4 \\ \underline{4} \\ 9 \\ \underline{5} \\ 4 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$$

☆商に0がたつときは計算を省くことができます。

$$\begin{array}{r} 109 \\ 5 \overline{) 549} \\ \underline{5} \\ 49 \\ \underline{45} \\ 4 \end{array}$$

☆わり算の計算と中の0はかきません。

(4) $328 \div 5$

$$\begin{array}{r} 65 \\ 5 \overline{) 328} \\ \underline{30} \\ 28 \\ \underline{25} \\ 3 \end{array}$$

☆一番上の位の商が0の時は0をかきません。

(5) $244 \div 8$

$$\begin{array}{r} 30 \\ 8 \overline{) 244} \\ \underline{24} \\ 4 \\ \underline{4} \\ 0 \\ 4 \end{array}$$

☆商に0がたつときは計算を省くことができます。

$$\begin{array}{r} 30 \\ 8 \overline{) 244} \\ \underline{24} \\ 4 \end{array}$$

(6) $707 \div 7$

$$\begin{array}{r} 101 \\ 7 \overline{) 707} \\ \underline{7} \\ 0 \\ \underline{0} \\ 7 \\ \underline{7} \\ 0 \end{array}$$

☆商に0がたつときは計算を省くことができます。

$$\begin{array}{r} 101 \\ 7 \overline{) 707} \\ \underline{50} \\ 49 \\ \underline{49} \\ 0 \end{array}$$

2 暗算でしましょう。

(1) $64 \div 4 = 16$

$$\begin{array}{r} 40 \quad 24 \\ 40 \div 4 = 10 \\ 24 \div 4 = 6 \\ \text{あわせて} \quad 16 \end{array}$$

(2) $240 \div 2 = 120$

$$\begin{array}{r} 200 \quad 40 \\ 200 \div 2 = 100 \\ 40 \div 2 = 20 \\ \text{あわせて} \quad 120 \end{array}$$

3 □にあてはまる数を書きましょう。

(1)

$$\begin{array}{r} \boxed{8} 1 \\ \boxed{4} \overline{) 32 \boxed{4}} \\ \underline{32} \\ 4 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$$

☆ここから、みつかります。
 $\square - 4 = 0$

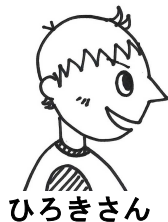
(2)

$$\begin{array}{r} 76 \\ 2 \overline{) \boxed{1} 5 \boxed{3}} \\ \underline{14} \\ 1 \boxed{3} \\ \underline{12} \\ 1 \end{array}$$

☆見つけやすいのはこちらです。
 $1 - \square = 0$

☆見つけやすいのはこちらです。
 $1 \square - 12 = 1$

1 右の筆算について、に当てはまる数を書きましょう。



わり算の筆算をするときは
9 5 2 を と 5 0 と 2
にわけて計算するんだね。



そうよ。だから、百の位の計
算は $9 \div 4$ をしているように
見えるけど $\div 4$ を表
しているのよ。



え～。そうだったの。という
ことは、 の1は百の
位だから を表してい
て、5は十の位だから
を表していることになるの？

	2	3	8
4	9	5	2
	8		
	1	5	
	1	2	
		3	2
		3	2
			0

その通り。だから、十の位の計算は $15 \div 4$ をし
ているように見えるけど $\div 4$ を表してい
るんだよ。



じゃあ、 の3は十の位だから を表して
いて、2は一の位だから を表しているんだね。

その通り。だから、一の位の計算は見た目の通り
 $\div 4$ を表しているんだよ。



小4 算数「1けたでわるわり算の筆算」3 かい答・かい説

1 右の筆算について、に当てはまる数を書きましょう。



わり算の筆算をするときは
9 5 2 を と50と2
にわけて計算するんだね。



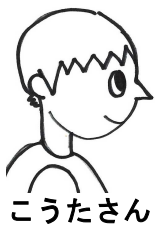
そうよ。だから、百の位の計
算は $9 \div 4$ をしているように
見えるけど $\div 4$ を表
しているのよ。



え～。そうだったの。という
ことは、の1は百の
位だから を表してい
て、5は十の位だから
を表していることになるの？

	2	3	8
4	9	5	2
	8		
	1	5	
	1	2	
		3	2
		3	2
			0

その通り。だから、十の位の計算は $15 \div 4$ をし
ているように見えるけど $\div 4$ を表してい
るんだよ。



じゃあ、の3は十の位だから を表して
いて、2は一の位だから を表しているんだね。

その通り。だから、一の位の計算は見た目の通り
 $\div 4$ を表しているんだよ。



1 次の数をよみましょう。

(1) 320383948 ()

(2) 95882300000000 ()

2 次の数を数字でかきましょう。

(1) 五百兆七百三億二千万九千八
()

(2) 1兆を8こ, 1億を7こ, 1万を4こあわせた数。
()

(3) 1億を32こ, 10万を402こあわせた数。
()

(4) 1億を570こ集めた数。
()

3 次の数を10倍した数, 10でわった数をかきましょう。

▼10倍した数

▼10でわった数

(1) 7000億 () ()

(2) 6兆 () ()

(3) 4兆1000億 () ()

4 次のかけ算の答えを, 筆算で求めましょう。

(1) 568×273 (2) 175×405

5 0から9までの数字を1回ずつ使って, 次の整数をかきましょう。

(1) 一番大きい10けたの数 (2) 一番小さい10けたの数

答え

答え

小4 算数「一億をこえる数」 かい答・かい説

1 次の数をよみましょう。

(1) 320383948 (三億二千三十八万三千九百四十八)

(2) 95882300000000 (九十五兆八千八百二十三億)

2 次の数を数字でかきましょう。

(1) 五百兆七百三億二千万九千八
(500070320009008)

(2) 1兆を8こ, 1億を7こ, 1万を4こあわせた数。
(8000700040000)

(3) 1億を32こ, 10万を402こあわせた数。
(3240200000)

(4) 1億を570こ集めた数。
(57000000000)

☆ 9 5 8 8 2 3 0 0 0 0 0 0 0 0

兆

億

万

右から順に4けたごとに区切ると
よみやすくなります。

☆整数を10倍すると, 位が1けた
ずつ上がります。

☆整数を10でわると, 位が1けた
ずつ下がります。

3 次の数を10倍した数, 10でわった数をかきましょう。

▼10倍した数

▼10でわった数

(1) 7000億 (7兆) (700億)

(2) 6兆 (60兆) (6000億)

(3) 4兆1000億 (41兆) (4100億)

4 次のかけ算の答えを, 筆算で求めましょう。

(1) 568×273

$$\begin{array}{r} 568 \\ \times 273 \\ \hline 1704 \\ 3976 \\ 1136 \\ \hline 155064 \end{array}$$

(2) 175×405

$$\begin{array}{r} 175 \\ \times 405 \\ \hline 875 \\ 000 \\ 700 \\ \hline 70875 \end{array}$$

☆かける数に0があ
るときは, 省くこと
ができます。

$$\begin{array}{r} 175 \\ \times 405 \\ \hline 875 \\ 700 \\ \hline 70875 \end{array}$$

5 0から9までの数字を1回ずつ使って, 次の整数をかきましょう。

(1) 一番大きい10けたの数

(2) 一番小さい10けたの数

答え 9876543210

答え 1023456789

1 次の数をかきましょう。

(1) 1を3こ, 0.1を5こ, 0.01を6こ,
0.001を8こあわせた数

答え

(2) 0.01を275こ集めた数。

答え

2 次の数は, それぞれ0.001を何こ集めた数でしょうか。

(1) 0.029

答え

(2) 5.01

答え

3 下の数直線上に, (例) と同じように次の数を表すめもりに  をかきましょう。

(例) 0.07

(1) 0.15

(2) 0.183



4 次の数を10倍した数, $\frac{1}{10}$ した数をかきましょう。

▼ 10倍した数

▼ $\frac{1}{10}$ した数

(1) 0.7 () ()

(2) 3.56 () ()

(3) 0.09 () ()

5 下の□に右のカードをあてはめて, 次の数をつくりましょう。

.		

(1) いちばん大きい数

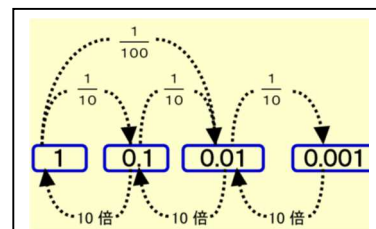
()

(2) いちばん小さい数

()

8	0	5
1	9	4

小4 算数「小数」1 かい答・かい説



1 次の数をかきましょう。

(1) 1を3こ, 0.1を5こ, 0.01を6こ,
0.001を8こあわせた数

答え 3.568

(2) 0.01を275こ集めた数。

答え 2.75

2 次の数は, それぞれ0.001を何こ集めた数でしょうか。

(1) 0.029

答え 29こ

(2) 5.01

答え 5010こ

3 下の数直線上の, (例)と同じように次の数をあらわすめもりに ↓ をかきましょう。



4 次の数を10倍した数, $\frac{1}{10}$ した数をかきましょう。

▼ 10倍した数 ▼ $\frac{1}{10}$ した数
(1) 0.7 (7) (0.07)

(2) 3.56 (35.6) (0.356)

(3) 0.09 (0.9) (0.009)

10倍すると位が1つ
上がります。

$\frac{1}{10}$ すると, 位が1つ
下がります。

5 下の□に右のカードをあてはめて, 次の数をつくりましょう。

□	.	□	□
---	---	---	---

8	0	5
1	9	4

(1) いちばん大きい数

(9.85)

(2) いちばん小さい数

(0.14)

一の位から順にあてはめます。

(1) 大きい数 → 9. □□

(2) 小さい数 → 0. □□

小4 算数「小数」2

組 番氏名

1 たし算をしましょう。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 1.43 \\ + 3.29 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (2) \quad 6.03 \\ + 4.02 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (3) \quad 5 \\ + 3.51 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (4) \quad 8.45 \\ + 1.55 \\ \hline \end{array}$$

2 次の計算を筆算でしましょう。

$$(1) \quad 6.07 + 0.25$$

$$(2) \quad 3.52 + 7$$

$$(3) \quad 4.38 + 2.62$$

3 ひき算をしましょう。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 8.76 \\ - 3.32 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (2) \quad 6.23 \\ - 5.85 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (3) \quad 4.63 \\ - 0.6 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (4) \quad 3 \\ - 1.38 \\ \hline \end{array}$$

4 次の計算を筆算でしましょう。

$$(1) \quad 9.37 - 8.57$$

$$(2) \quad 7.39 - 3.3$$

$$(3) \quad 5 - 3.28$$

小4 算数「小数」2 かい答・かい説

1 たし算をしましょう。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 1.43 \\ + 3.29 \\ \hline 4.72 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (2) \quad 6.03 \\ + 4.02 \\ \hline 10.05 \end{array}$$

小数の筆算の
ポイント！！
○ 位をそろえる
○ 小数点の位置に注意

$$\begin{array}{r} (3) \quad 5 \\ + 3.51 \\ \hline 8.51 \end{array}$$

☆5を5.00と
考えます。
5.00
+3.51

$$\begin{array}{r} (4) \quad 8.45 \\ + 1.55 \\ \hline 10. \cancel{00} \end{array}$$

☆答えは10.00で
はなく10にしま
しょう。

2 次の計算を筆算でしましょう。

(1) $6.07 + 0.25$

(2) $3.52 + 7$

(3) $4.38 + 2.62$

$$\begin{array}{r} 6.07 \\ + 0.25 \\ \hline 6.32 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3.52 \quad 7 \\ + 7 \quad + 3.52 \\ \hline 10.52 \quad 10.52 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4.38 \\ + 2.62 \\ \hline 7. \cancel{00} \end{array}$$

☆たす数とたされる数を逆にして
筆算にしてもかまいません。

3 ひき算をしましょう。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 8.76 \\ - 3.32 \\ \hline 5.44 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (2) \quad 6.23 \\ - 5.85 \\ \hline 0.38 \end{array}$$

☆一の位の0は忘れず
に書きましょう、

$$\begin{array}{r} (3) \quad 4.63 \\ - 0.6 \\ \hline 4.03 \end{array}$$

☆0.6を0.60
と考えます。
4.63
-0.60

$$\begin{array}{r} (4) \quad 3 \\ - 1.38 \\ \hline 1.62 \end{array}$$

☆3を3.00と
考えます。
3.00
-1.38

☆小数第一位の0は忘れずに書
きましょう、

4 次の計算を筆算でしましょう。

(1) $9.37 - 8.57$

(2) $7.39 - 3.3$

(3) $5 - 3.28$

$$\begin{array}{r} 9.37 \\ - 8.57 \\ \hline 0.8 \cancel{0} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 7.39 \\ - 3.3 \\ \hline 4.09 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5 \\ - 3.28 \\ \hline 1.72 \end{array}$$

- 1 みのもりさんとひろやさんは、小数のたし算の学習について話をしています。会話を読んで、下の(1)、(2)に答えましょう。

小数のたし算をするときは、ある数をいくつ分か考えて計算すると答えを求めることができるのね。



みのもりさん



ひろやさん

たとえば、 $0.3 + 0.6$ だったらどう考えるの？

0.3 は 0.1 が3こ分、 0.6 は 0.1 が6こ分。 $0.3 + 0.6$ の計算は、 $3 + 6 = 9$ で、 0.1 が9こ分だから、 $0.3 + 0.6 = 0.9$ になるのよ。



みのもりさん



ひろやさん

なるほど。 0.1 がいくつ分か、で考えるんだね。

- (1)【みのもりさんの考え方】をもとにして、 $0.5 + 1.2$ の計算のしかたを、言葉と数をつかって書きましょう。また、答えも書きましょう。
(計算のしかた)

答え

- (2) $0.75 + 0.9$ の計算のしかたとして正しい考え方はア～エのどれでしょう。

- ア 0.1 がいくつ分かを考えると、 $75 + 9 = 84$ です。
 0.1 が84こ分なので、答えは8.4です。
- イ 0.1 がいくつ分かを考えると、 $75 + 90 = 165$ です。
 0.1 が165こ分なので、答えは16.5です。
- ウ 0.01 がいくつ分かを考えると、 $75 + 9 = 84$ です。
 0.01 が84こ分なので、答えは8.4です。
- エ 0.01 がいくつ分かを考えると、 $75 + 90 = 165$ です。
 0.01 が165こ分なので、答えは1.65です。

答え

小4 算数「小数」3 かい答・かい説

- 1 みのりさんとひろやさんは、小数のたし算の学習について話をしています。会話を読んで、下の(1)、(2)に答えましょう。

小数のたし算をするときは、ある数をいくつか考えて計算すると答えを求めることができるのね。



みのりさん

たとえば、 $0.3 + 0.6$ だったらどう考えるの？



ひろやさん

0.3 は 0.1 が3こ分、 0.6 は 0.1 が6こ分。
 $0.3 + 0.6$ の計算は、 $3 + 6 = 9$ で、 0.1 が9こ分だから、 $0.3 + 0.6 = 0.9$ になるのよ。



みのりさん

なるほど。 0.1 がいくつか、で考えるんだね。



ひろやさん

- (1) 【みのりさんの考え方】をもとにして、 $0.5 + 1.2$ の計算のしかたを、言葉と数をつかって書きましょう。また、答えも書きましょう。

(計算のしかた)

0.5 は 0.1 が5こ分、 1.2 は 0.1 が12こ分です。 $0.5 + 1.2$ の計算は、 $5 + 12 = 17$ で、 0.1 が17こ分だから、 $0.5 + 1.2 = 1.7$ になります。

答え 1.7

- (2) $0.75 + 0.9$ の計算のしかたとして正しい考え方はア～エのどれでしょう。

ア 0.1 がいくつかを考えると、 $75 + 9 = 84$ です。
 0.1 が84こ分なので、答えは8.4です。

イ 0.1 がいくつかを考えると、 $75 + 90 = 165$ です。
 0.1 が165こ分なので、答えは16.5です。

ウ 0.01 がいくつかを考えると、 $75 + 9 = 84$ です。
 0.01 が84こ分なので、答えは8.4です。

エ 0.01 がいくつかを考えると、 $75 + 90 = 165$ です。
 0.01 が165こ分なので、答えは1.65です。

答え エ

1 次の計算をしましょう。

(1) $80 \div 20$

(2) $600 \div 90$

2 筆算で計算しましょう。

(1) $69 \div 23$

(2) $95 \div 12$

(3) $634 \div 78$

(4) $412 \div 42$

3 筆算で計算しましょう。

(1) $92 \div 23$

(2) $78 \div 14$

(3) $247 \div 83$

小4 算数「2けたでわるわり算の筆算」 1 かい答・かい説

1 次の計算をしましょう。

☆商はそのままです。

☆あまりだけ10倍します。

(1) $80 \div 20 = 4$

$\begin{array}{r} \div 10 \downarrow \quad \downarrow \div 10 \\ 8 \div 2 = 4 \end{array}$

(2) $600 \div 90 = 6 \text{ 残り } 60$

$\begin{array}{r} \div 10 \downarrow \quad \downarrow \div 10 \quad \uparrow \times 10 \\ 60 \div 9 = 6 \text{ 残り } 6 \end{array}$

2 筆算で計算しましょう。

(1) $69 \div 23$

(2) $95 \div 12$

☆わる数が2けたなので、一番大きい位に商が立たちません。

				3
2	3	)	6	9
			6	9
				0

☆あまりは、わる数よりも小さくなります。

				7
1	2	)	9	5
			8	4
			1	1

☆一番大きい位だけでなく二番目に大きい位も商が立たない場合があります。

(3) $634 \div 78$

(4) $412 \div 42$

					8
7	8	)	6	3	4
			6	2	4
				1	0

				9	
4	2	)	4	1	2
			3	7	8
				3	4

3 筆算で計算しましょう。

(1) $92 \div 23$

(2) $78 \div 14$

(3) $247 \div 83$

$\begin{array}{r} 4 \\ 23 \overline{)92} \\ \underline{92} \\ 0 \end{array}$

$\begin{array}{r} 5 \\ 14 \overline{)78} \\ \underline{70} \\ 8 \end{array}$

$\begin{array}{r} 2 \\ 83 \overline{)247} \\ \underline{166} \\ 81 \end{array}$

ここがポイント！

【かい説】見当をつけた商が大きすぎたときは、商を1ずつ小さくしてみましょう。
わる数よりあまりが大きくなったときは、商を1ずつ大きくしましょう。

1 筆算で計算しましょう。

(1) $435 \div 29$

(2) $395 \div 35$

(3) $827 \div 27$

(4) $721 \div 196$

(5) $8284 \div 82$

(6) $7536 \div 314$

(7) $3928 \div 278$

2 くふうして、計算しましょう。

(1) $3600 \div 450$

) _____

(2) $2700 \div 400$

) _____

小4 算数「2けたでわるわり算の筆算」発展 かい答・かい説

1 筆算で計算しましょう。

(1) $435 \div 29$

$$\begin{array}{r} 15 \\ 29 \overline{) 435} \\ \underline{29} \\ 145 \\ \underline{145} \\ 0 \end{array}$$

(2) $395 \div 35$

$$\begin{array}{r} 11 \\ 35 \overline{) 395} \\ \underline{35} \\ 45 \\ \underline{35} \\ 10 \end{array}$$

(3) $827 \div 27$

$$\begin{array}{r} 30 \\ 27 \overline{) 827} \\ \underline{81} \\ 17 \end{array}$$

☆一番大きい位だけでなく二番目に大きい位も商が立たない場合があります。

☆商に0がたつとき途中の計算を省くことができます。

$$\begin{array}{r} 30 \\ 27 \overline{) 827} \\ \underline{81} \\ 17 \end{array}$$

(4) $721 \div 196$

$$\begin{array}{r} 3 \\ 196 \overline{) 721} \\ \underline{588} \\ 133 \end{array}$$

(5) $8284 \div 82$

$$\begin{array}{r} 101 \\ 82 \overline{) 8284} \\ \underline{82} \\ 8 \\ \underline{8} \\ 04 \\ \underline{04} \\ 2 \end{array}$$

☆商に0がたつとき途中の計算を省くことができます。

$$\begin{array}{r} 101 \\ 82 \overline{) 8284} \\ \underline{82} \\ 84 \\ \underline{82} \\ 2 \end{array}$$

(6) $7536 \div 314$

$$\begin{array}{r} 24 \\ 314 \overline{) 7536} \\ \underline{628} \\ 1256 \\ \underline{1256} \\ 0 \end{array}$$

(7) $3928 \div 278$

$$\begin{array}{r} 14 \\ 278 \overline{) 3928} \\ \underline{278} \\ 1148 \\ \underline{1148} \\ 36 \end{array}$$

2 くふうして、計算しましょう。

(1) $3600 \div 450$

$$\begin{array}{r} 8 \\ 45 \cancel{0} \overline{) 360 \cancel{0}} \\ \underline{360} \\ 0 \end{array}$$

(2) $2700 \div 400$

$$\begin{array}{r} 6 \\ 4 \cancel{0} \cancel{0} \overline{) 27 \cancel{0} \cancel{0}} \\ \underline{24} \\ 300 \end{array}$$

【かい説】最後の0を1つ、または2つ省いて計算することができます。
消した0の数だけあまりには、0をつけましょう。

1 四捨五入をして、千の位までのがい数にしましょう。（令和4年4月1日時点）

(1) 5 4 7 5 4 7 人（鳥取県の人口） 答え _____ 人

(2) 6 2 6 7 5 7 9 人（千葉県の人口） 答え _____ 人

(3) 1 3 9 9 5 4 6 9 人（東京都の人口） 答え _____ 人

2 四捨五入をして、上から2けたのがい数にしましょう。

（令和4年度 全国都道府県市区町村別面積調 参照）

(1) 1 8 7 7 km^2 （香川県の面積） 答え _____ km^2

(2) 5 1 5 7 km^2 （千葉県の面積） 答え _____ km^2

(3) 8 3 4 2 3 km^2 （北海道の面積） 答え _____ km^2

3 千葉市に千葉城（いの はな亥鼻城）が建てられたのは、今から約900年前のことです。

四捨五入をして、百の位までのがい数にしたとき、900になる整数のはんいを、
以上、未満を使って表しましょう。

答え 以上 未満

小4 算数「がい数」かい答・かい説

1 四捨五入をして、千の位までのがい数にしましょう。

☆千の位までのがい数にするには
百の位の数に四捨五入します。

(1) 54⁸~~7547~~人（鳥取県の人口）

答え 548000人

(2) 626⁸~~579~~人（千葉県の人口）

答え 6268000人

(3) 13995~~469~~人（東京都の人口）

答え 13995000人

2 四捨五入をして、上から2けたのがい数にしましょう。

☆位に関係無く上から三つ目の位
の数を四捨五入します。

(1) 1⁹~~877~~km²（香川県の面積）

答え 1900km²

(2) 5²~~57~~km²（千葉県の面積）

答え 5200km²

(3) 83~~423~~km²（北海道の面積）

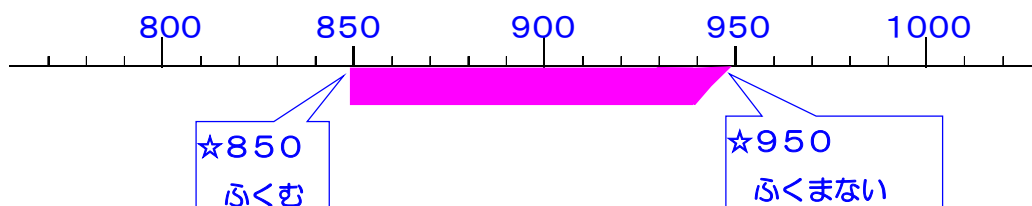
答え 83000km²

3 千葉市に千葉城（^{いの はな}亥鼻城）が建てられたのは、今から約900年前のことです。

四捨五入をして、百の位までのがい数にしたとき、900になる整数のはんいを、
以上、未満を使って表しましょう。

答え 850 以上 950 未満

【かい説】百の位までのがい数にするときは、十の位を四捨五入します。



- 1 右の表は、幕張メッセのイベントに参加した 金曜日、土曜日、日曜日の入場者数を表したものです。

曜日	入場者数（人）
金	7 3 1 1
土	1 8 8 6 5
日	1 8 2 5 3

幕張メッセの入場者数

- (1) 3日間の入場者数は、あわせて約何万何千人といえはよいですか。がい数にして求めましょう。

(式)

答え _____ 人

- (2) 金曜日と土曜日の入場者数のちがいは、約何万何千人といえはよいですか。がい数にして求めましょう。

(式)

答え _____ 人

- 2 ちはなさんの家から中央公園までの道のりは、おうふく2014mあります。2022年には1年間に702回、中央公園まで犬のさん歩に行きました。歩く道のりは全部で約何kmになったのでしょうか。上から1けたのがい数にして見積もりましょう。

(式)

答え _____ km

- 3 ミニバスケットボールチーム37人で、バス1台を借りると、80400円かかります。1人分のバス代はおよそ何円になりますか。上から1けたのがい数にして見積もりましょう。

(式)

答え _____ 円

小4 算数「がい数の計算」 1 かい答・かい説

- 1 右の表は、幕張メッセのイベントに参加した 金曜日、土曜日、日曜日の入場者数を表したものです。

曜日	入場者数（人）
金	7 3 1 1
土	1 8 8 6 5
日	1 8 2 5 3

幕張メッセの入場者数

- (1) 3日間の入場者数は、あわせて約何万何千人といえはよいですか。がい数にして求めましょう。

$$\begin{array}{rcl}
 \text{金} & 7\cancel{3}\cancel{1}\cancel{1} & \rightarrow 7000 \\
 & 9 & \\
 \text{土} & 1\cancel{8}\cancel{8}\cancel{6}\cancel{5} & \rightarrow 19000 \\
 \text{日} & 1\cancel{8}\cancel{2}\cancel{5}\cancel{3} & \rightarrow 18000
 \end{array}$$

☆何万何千人のがい数にするには、十の位より下の数は切り捨てて、百の位を四捨五入します。

$$(式) 7000 + 19000 + 18000 = 44000$$

答え 約44000人

- (2) 金曜日と土曜日の入場者数のちがいは、約何万何千人といえはよいですか。がい数にして求めましょう。

$$(式) 19000 - 7000 = 12000$$

答え 約12000人

- 2 ちはなさんの家から中央公園までの道のりは、おうふく2014m あります。2022年には1年間に702回、中央公園まで犬のさん歩に行きました。歩く道のりは全部で約何kmになったでしょうか。上から1けたのがい数にして見積もりましょう。

$$\begin{array}{rcl}
 \text{おうふく} & 2\cancel{0}\cancel{1}\cancel{4}\text{m} & \rightarrow 2000\text{m} \\
 \text{一年で} & 7\cancel{0}\cancel{2}\text{回} & \rightarrow 700\text{回} \\
 (式) & 2000 \times 700 = 1400000 \\
 & 1400000\text{m} \rightarrow 1400\text{km}
 \end{array}$$

☆上から一けたのがい数にするには、位に関係なく上から二番目の位の数を四捨五入して、その下の位はすべて切り捨てます。

答え 約1400km

- 3 ミニバスケットボールチーム37人で、バス1台を借りると、80400円かかります。1人分のバス代はおよそ何円になりますか。上から1けたのがい数にして見積もりましょう。

$$\begin{array}{rcl}
 & 4 & \\
 \text{人数} & \cancel{3}\cancel{7}\text{人} & \rightarrow 40\text{人} \\
 \text{バス代} & 8\cancel{0}\cancel{4}\cancel{0}\cancel{0}\text{円} & \rightarrow 80000\text{円} \\
 (式) & 80000 \div 40 = 2000
 \end{array}$$

答え 約2000円

- 1 みのりさんとひろやさんはハロウィンパーティーのためにお菓子をを用意することにしました。菓子屋さんで48円のチョコレートを、参加者34人分買うことにしました。

48円のチョコレートを34個買うから式にすると 48×34 になるわね。



みのりさん

だったら、必ず1200円よりも高くなるね。



ひろやさん

え？ どうしてそんなことわかるの？ そんなに計算が得意だったかしら？



みのりさん

ちがうよ。がい算したんだよ。



ひろやさん

なるほど。だったら、2000円あればたりることも概算でわかるわね。



みのりさん

- (1) ひろやさんはどのようながい算をして、1200円よりも高くなることがわかったのでしょうか。下のアからエまでの中から一つ選びましょう。

- ア 48を大きくみて50, 34を大きくみて40として計算します。
- イ 48を大きくみて50, 34を小さくみて30として計算します。
- ウ 48を小さくみて40, 34を大きくみて40として計算します。
- エ 48を小さくみて40, 34を小さくみて30として計算します。

答え

- (2) みのりさんはどのようながい算をして、2000円あればたりることがわかったのでしょうか。下のアからエまでの中から一つ選びましょう。

- ア 48を大きくみて50, 34を大きくみて40として計算します。
- イ 48を大きくみて50, 34を小さくみて30として計算します。
- ウ 48を小さくみて40, 34を大きくみて40として計算します。
- エ 48を小さくみて40, 34を小さくみて30として計算します。

答え

小4 算数「がい数の計算」2 かい答・かい説

- 1 みのりさんとひろやくんはハロウィンパーティーのためにお菓子をを用意することにしました。菓子屋さんで48円のチョコレートを、参加者34人分買うことにしました。

48円のチョコレートを34個買うから式にすると 48×34 になるわね。



みのりさん

だったら、必ず1200円よりも高くなるね。



ひろやさん

え？ どうしてそんなことわかるの？ そんなに計算が得意だったかしら？



みのりさん

ちがうよ。がい算したんだよ。



ひろやさん

なるほど。だったら、2000円あればたりることも概算でわかるわね。



みのりさん

- (1) ひろやさんはどのようながい算をして、1200円よりも高くなることがわかったのでしょうか。下のアからエまでの中から一つ選びましょう。

- ア 48を大きくみて50, 34を大きくみて40として計算します。
- イ 48を大きくみて50, 34を小さくみて30として計算します。
- ウ 48を小さくみて40, 34を大きくみて40として計算します。
- エ 48を小さくみて40, 34を小さくみて30として計算します。

答え エ

- (2) みのはりさんはどのようながい算をして、2000円あればたりることがわかったのでしょうか。下のアからエまでの中から一つ選びましょう。

- ア 48を大きくみて50, 34を大きくみて40として計算します。
- イ 48を大きくみて50, 34を小さくみて30として計算します。
- ウ 48を小さくみて40, 34を大きくみて40として計算します。
- エ 48を小さくみて40, 34を小さくみて30として計算します。

答え ア

1 次の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 0.29 \\ \times \quad 3 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (2) \quad 41.8 \\ \times \quad 6 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (3) \quad 3.2 \\ \times \quad 21 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (4) \quad 6.75 \\ \times \quad 48 \\ \hline \end{array}$$

2 1本0.34L入りのジュースがあります。25本分では何Lになりますか。

(式)

答え

小4 算数「小数×整数」かい答・かい説

1 次の計算をしましょう。

【かい説】 小数×整数の計算は、整数と同じように計算して、小数点をつけます。

$$\begin{array}{r} (1) \quad 0.29 \\ \times \quad 3 \\ \hline 0.87 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (2) \quad 41.8 \\ \times \quad 6 \\ \hline 250.8 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (3) \quad 3.2 \\ \times \quad 21 \\ \hline 32 \\ 64 \\ \hline 67.2 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (4) \quad 6.75 \\ \times \quad 48 \\ \hline 5400 \\ 2700 \\ \hline 324.00 \end{array}$$

2 1本0.34L入りのジュースがあります。25本分では何Lになりますか。

(式) $0.34 \times 25 = 8.5$

答え 8.5 L

$$\begin{array}{r} 0.34 \\ \times \quad 25 \\ \hline 170 \\ 68 \\ \hline 8.50 \end{array}$$

1 次の計算をわり切れるまでしましょう。

(1)

$$8 \overline{) 9.6}$$

(2)

$$5 \overline{) 6.8}$$

(3)

$$23 \overline{) 5.06}$$

(4)

$$45 \overline{) 56.7}$$

2 次の商を，四捨五入で， $\frac{1}{10}$ の位までのがい数で表しましょう。

また，上から1けたのがい数で表しましょう。

$$7.3 \div 4$$

$\frac{1}{10}$ の位までのがい数 答え _____

上から1けたのがい数 答え _____

小4 算数「小数÷整数」かい答・かい説

【かい説】 小数÷整数の計算は、整数と同じように計算し、わられる数の小数点にそろえて小数点をつけます。

1 次の計算をわり切れるまでしましょう。

$$(1) \quad \begin{array}{r} 1.2 \\ 8 \overline{) 9.6} \\ \underline{8} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array}$$

$$(2) \quad \begin{array}{r} 1.36 \\ 5 \overline{) 6.80} \\ \underline{5} \\ 18 \\ \underline{15} \\ 30 \\ \underline{30} \\ 0 \end{array}$$

$$(3) \quad \begin{array}{r} 0.22 \\ 23 \overline{) 5.06} \\ \underline{46} \\ 46 \\ \underline{46} \\ 0 \end{array}$$

$$(4) \quad \begin{array}{r} 1.26 \\ 45 \overline{) 56.70} \\ \underline{45} \\ 117 \\ \underline{90} \\ 270 \\ \underline{270} \\ 0 \end{array}$$

0をつけたして計算を続けます。

2 次の商を、四捨五入で、 $\frac{1}{10}$ の位までのがい数で表しましょう。

また、上から1けたのがい数で表しましょう。

$$7.3 \div 4 = 1.825$$

$$\begin{array}{r} 1.825 \\ 4 \overline{) 7.300} \\ \underline{4} \\ 33 \\ \underline{32} \\ 10 \\ \underline{8} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

【かい説】 $7.3 \div 4$ を計算すると、商は1.825です。

$$\frac{1}{10} \text{ の位までのがい数 } \quad \begin{array}{r} 1.825 \\ \hline 1.8 \end{array}$$

$$\text{上から1けたのがい数 } \quad \begin{array}{r} 1.825 \\ \hline 2 \end{array}$$

1 次の仮分数を、整数か帯分数になおしましょう。

(1) $\frac{11}{7}$

(2) $\frac{9}{3}$

答え _____

答え _____

2 次の帯分数を、仮分数になおしましょう。

(1) $1\frac{2}{5}$

(2) $2\frac{1}{6}$

答え _____

答え _____

3 次の計算をしましょう。

(1) $\frac{3}{7} + \frac{4}{7}$

(2) $1\frac{4}{5} + \frac{4}{5}$

(3) $1\frac{2}{4} - \frac{3}{4}$

(4) $5 - \frac{1}{2}$

小4 算数「分数」かい答・かい説

1 次の仮分数を、整数か帯分数になおしましょう。

(1) $\frac{11}{7}$

【かい説】 $11 \div 7 = 1$ あまり 4

答え $1\frac{4}{7}$

(2) $\frac{9}{3}$

【かい説】 $9 \div 3 = 3$

答え 3

2 次の帯分数を、仮分数になおしましょう。

(1) $1\frac{2}{5}$

【かい説】 $5 \times 1 + 2 = 7$

答え $\frac{7}{5}$

(2) $2\frac{1}{6}$

【かい説】 $6 \times 2 + 1 = 13$

答え $\frac{13}{6}$

3 次の計算をしましょう。

(1) $\frac{3}{7} + \frac{4}{7} = 1$

$\frac{7}{7} = 1$

(2) $1\frac{4}{5} + \frac{4}{5} = \frac{13}{5}$ または $2\frac{3}{5}$

帯分数を仮分数に直して計算します。

$\frac{9}{5} + \frac{4}{5} = \frac{13}{5}$

分数部分だけを計算します。

$1\frac{4}{5} + \frac{4}{5} = 1\frac{8}{5} = 2\frac{3}{5}$

(3) $1\frac{2}{4} - \frac{3}{4} = \frac{3}{4}$

帯分数を仮分数にして計算します。

$\frac{6}{4} - \frac{3}{4} = \frac{3}{4}$

(4) $5 - \frac{1}{2} = \frac{9}{2}$ または $4\frac{1}{2}$

整数を仮分数に直して計算します。

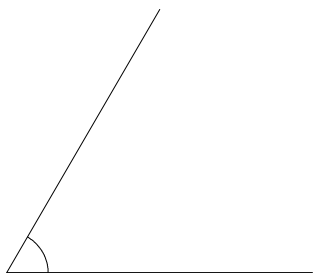
$\frac{10}{2} - \frac{1}{2} = \frac{9}{2}$

整数を帯分数に直して計算します。

$4\frac{2}{2} - \frac{1}{2} = 4\frac{1}{2}$

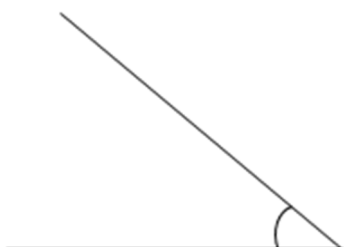
1 下の角の大きさを、分度器でつかって求めましょう。

(1)



答え _____

(2)



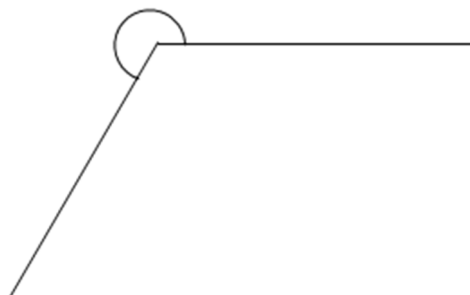
答え _____

(3)



答え _____

(4)

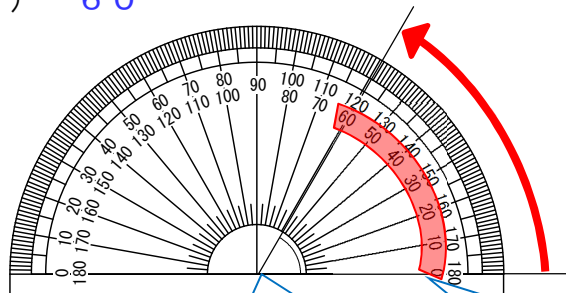


答え _____

小4 算数「角とその大きさ」1 かい答・かい説

1 下の角の大きさを、分度器でつかって求めましょう。

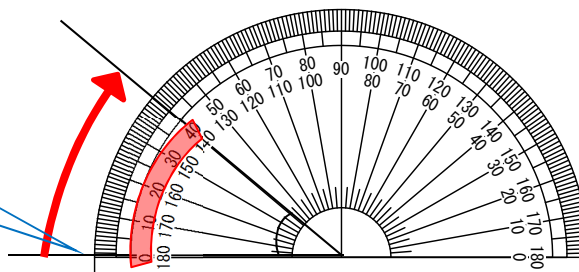
(1) 60°



分度器の中心を角の頂点に合わせます。

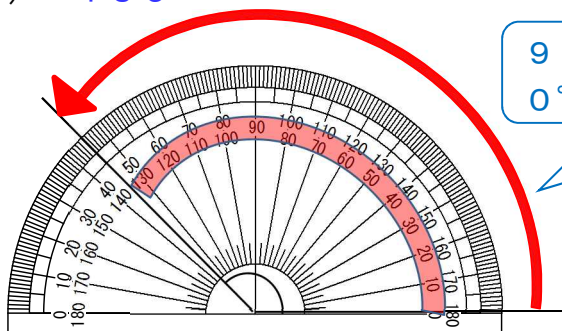
0° の線に合わせた方の目盛りを読みます。

(2) 40°



0° の線に合わせた方の目盛りを読みます。

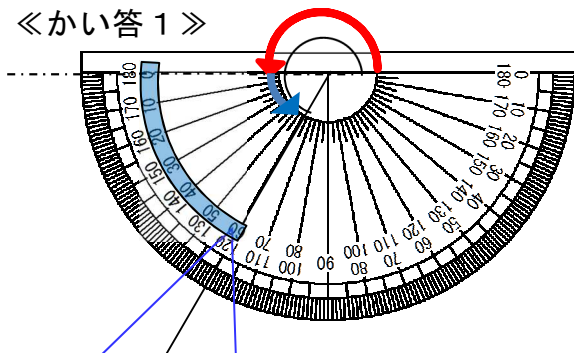
(3) 135°



90° より大きな角度も、 0° の線に合わせた目盛りを読みます。

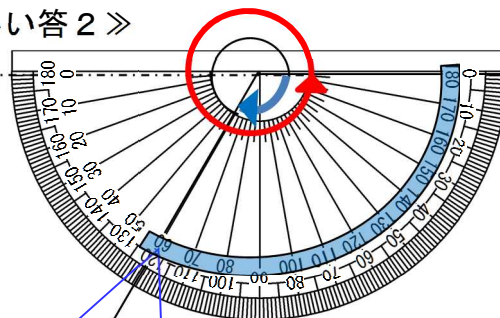
(4) 240°

《かい答1》



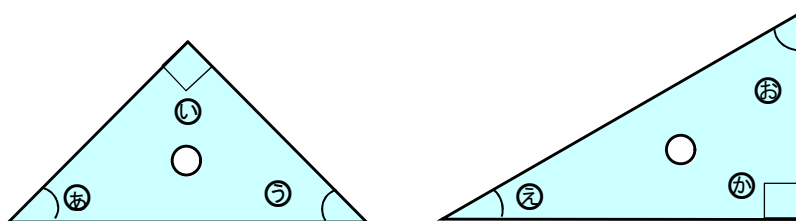
直線の 180° (赤矢印) に分度器ではかった 60° (青矢印) をたします。
式) $180^\circ + 60^\circ = 240^\circ$

《かい答2》



一周の 360° (赤矢印) から分度器ではかった 120° (青矢印) をひきます。
 $360^\circ - 120^\circ = 240^\circ$

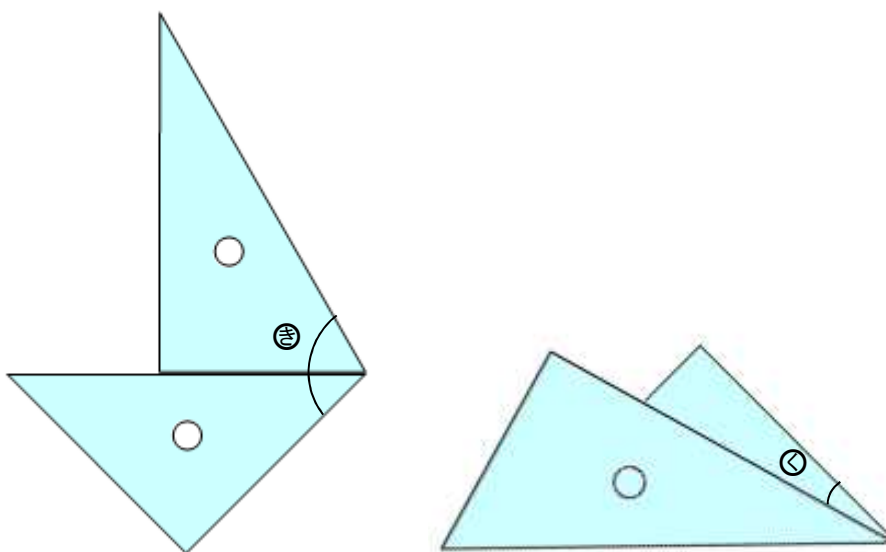
1 三角じょうぎの㊦～㊨それぞれの角度は何度ですか。



㊦ _____ ㊩ _____ ㊨ _____

㊧ _____ ㊪ _____ ㊫ _____

2 1組の三角じょうぎを使って㊬と㊭の角をつくりました。それぞれの角の大きさを求めましょう。

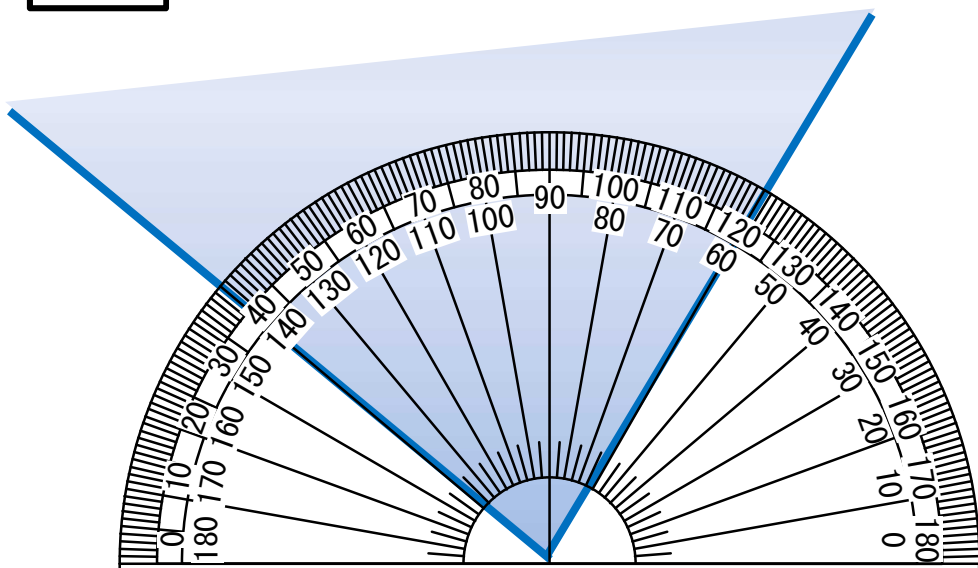


㊬ _____

㊭ _____

3 1組の三角じょうぎを使ってできる角度は、ほかにもたくさんあります。どんな角度が作れるか挑戦してみましょう。

下の図のように分度器を当てても角度を求められることに気付いた友達が話をしています。□ に当てはまる式を書き込みましょう。



こうきさん

こんな分度器の当て方じゃ角度ははかれないんじゃない？

そんなことないわよ。分度器の左側から数えると、 40° から 120° までが角度になっているから、□ で角度は求められるわよ。



りおさん



らいとさん

だったら、分度器の右側から数えると、 60° から 140° までが角度になっているから、□ で角度は求められるんじゃない？

そうね。その方法でも求められるわね。二人の考えを合わせて、違う式でも角度は求められるわよ。



りおさん

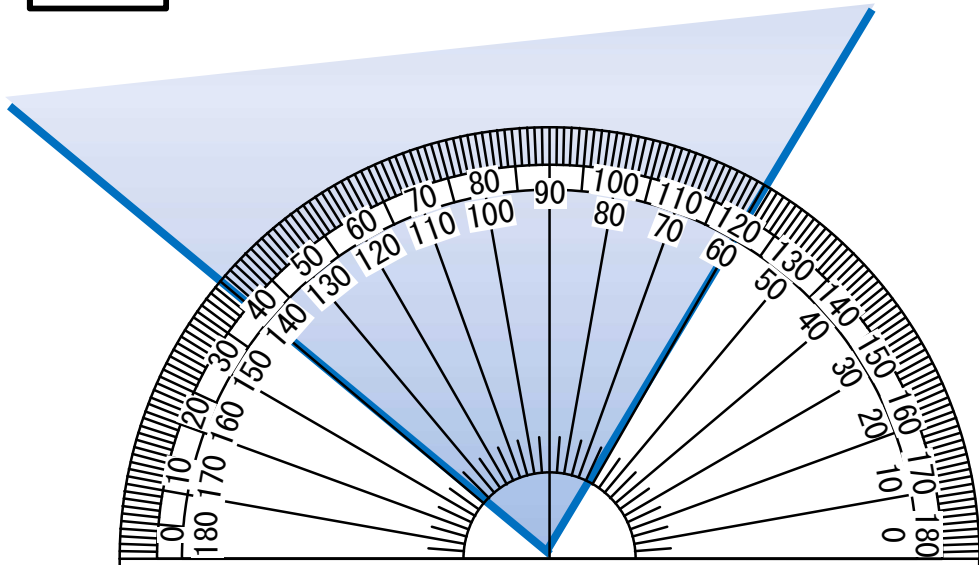


こうきさん

あ～、わかった！分度器の左側から数えると 40° 、右側から数えると 60° 。そして直線は 180° だから □ で角度を求められるんだね。

小4 算数「角とその大きさ」3 かい答・かい説

下の図のように分度器を当てても角度を求められることに気付いた友達が話をしています。□ に当てはまる式を書き込みましょう。



こうきさん

こんな分度器の当て方じゃ角度ははかれないんじゃない？

☆式だけでもよいです。
☆式には°をつけないことが多いです。

そんなことないわよ。分度器の左側から数えると、 40° から 120° までが角度になっているから、 $120 - 40 (=80)$ で角度は求められるわよ。



りおさん



らいとさん

だったら、分度器の右側から数えると、 60° から 140° までが角度になっているから、 $140 - 60 (=80)$ で角度は求められるんじゃない？

そうね。その方法でも求められるわね。二人の考えを合わせて、違う式でも角度は求められるわよ。



りおさん



こうきさん

あ～、わかった！分度器の左側から数えると 40° 、右側から数えると 60° 。そして直線は 180° だから $180 - 40 - 60 (=80)$ で角度を求められるんだね。

1 公式を使って、次の面積を求めましょう。

(1) たて5cm, 横7cm の長方形の紙の面積

(式)

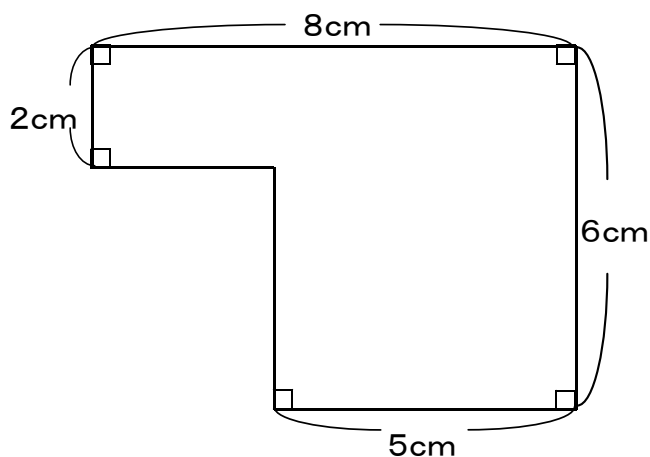
答え cm^2

(2) 1辺が12mの正方形の部屋の面積

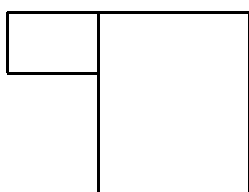
(式)

答え m^2

2 下のような図形の面積を、(1)～(3)の方法で求めました。
それぞれの図にあう式を、ア～ウの中から選び記号で答えましょう。



(1)



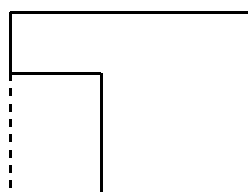
()

(2)



()

(3)



()

ア $6 \times 8 - 4 \times 3$

イ $2 \times 3 + 6 \times 5$

ウ $2 \times 8 + 4 \times 5$

3 面積がおよそ5000 km^2 のものを、次の中から選び○をつけましょう。

教室

野球場

東京ディズニーランド

千葉県

小4 算数「面積」 かい答・かい説

1 公式を使って、次の面積を求めましょう。

(1) たて5cm, 横7cm の長方形の紙の面積

(式) $5 \times 7 = 35$ たて×よこ

答え 35cm^2

(2) 1辺が12mの正方形の部屋の面積

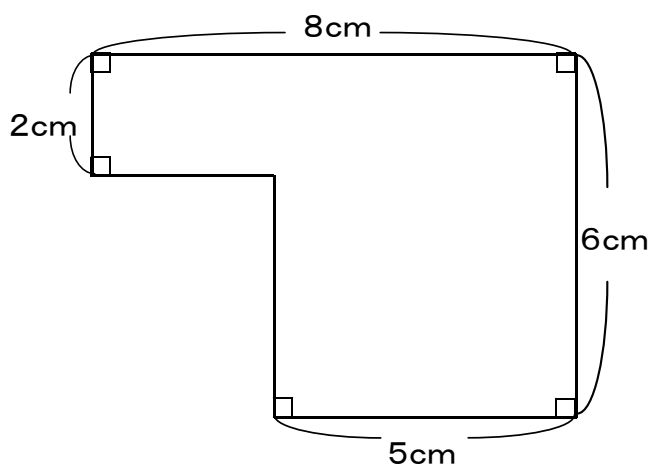
(式) $12 \times 12 = 144$

答え 144m^2

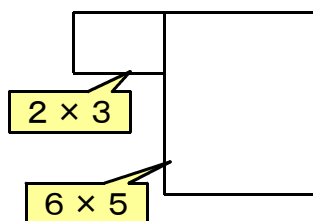
1辺×1辺

2 下のような図形の面積を、(1)～(3)の方法で求めました。

それぞれの図にあう式を、ア～ウの中から選び記号で答えましょう

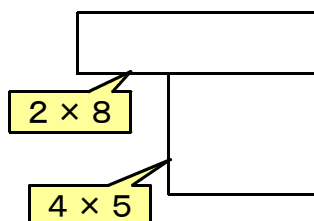


(1)



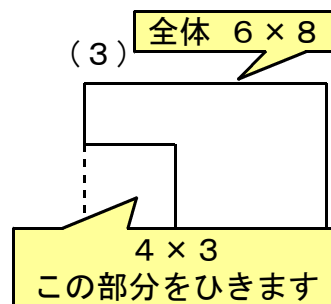
(イ)

(2)



(ウ)

(3)



(ア)

ア $6 \times 8 - 4 \times 3$

イ $2 \times 3 + 6 \times 5$

ウ $2 \times 8 + 4 \times 5$

3 面積がおよそ5000km²のものを、次の中から選び○をつけましょう。

教室

野球場

東京ディズニーランド

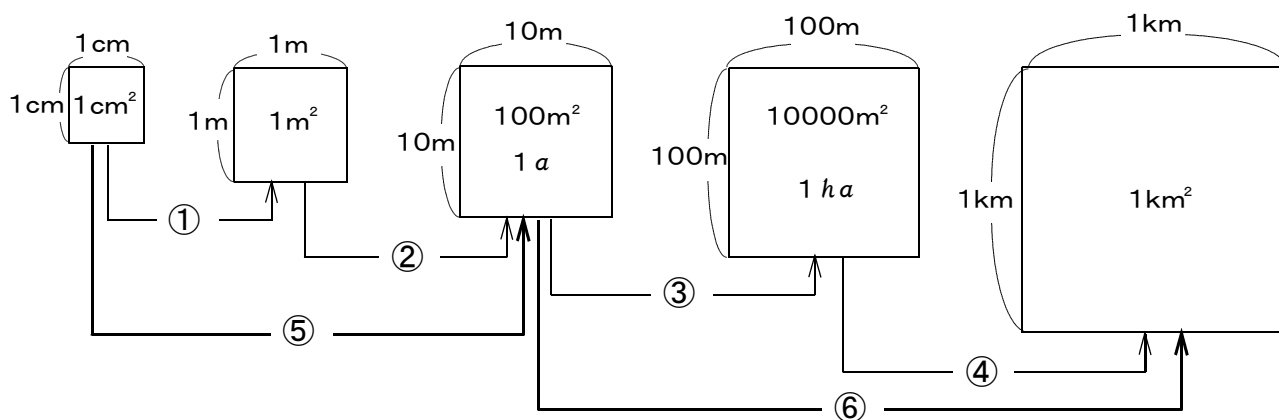
千葉県

【かい説】面積が5000km²になるような長方形のたてと横の長さを考えてみましょう。とても1日で歩ける距離でないことがわかんと思います。

100km
50km 5000km²

1 次の問いに答えましょう。

(1) 下の図を見て、面積が何倍になるのか答えましょう。



①

②

③

④

⑤

⑥

(2) 次の にあてはまる数を書きましょう。

①

$\text{cm}^2 = 1 \text{ m}^2$

②

$\text{m}^2 = \text{ } a = 1 \text{ ha}$

(3) 次の にあてはまる単位を書きましょう。

① 教科書の面積

約 4 6 0

② 運動場の面積

約 2 0 0 0 0

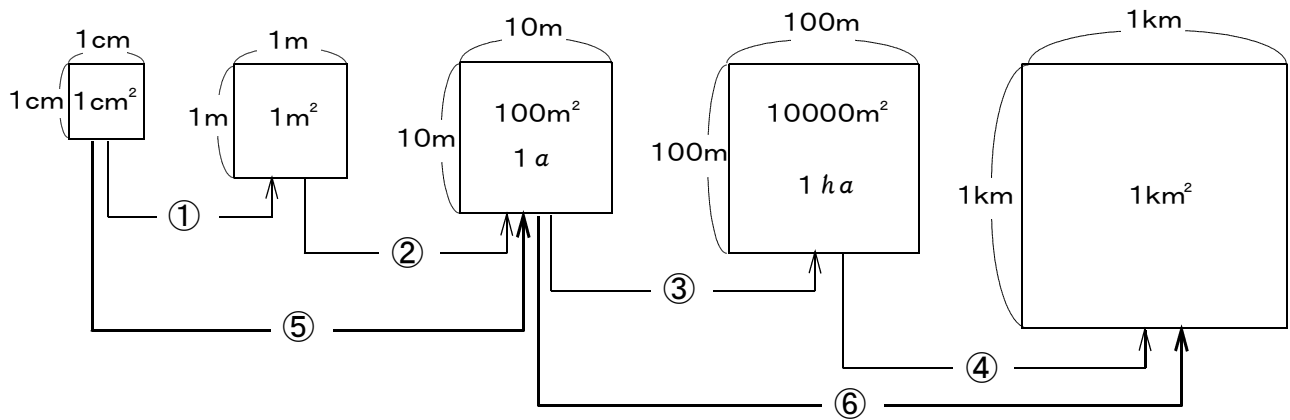
③ 千葉県の面積

約 5 1 5 6

小4 算数「量の単位」 かい答・かい説

1 次の問いに答えましょう。

(1) 下の図を見て、面積が何倍になるのか答えましょう。



①

10000倍

②

100倍

③

100倍

④

100倍

⑤

1000000倍

⑥

10000倍

(2) 次の にあてはまる数を書きましょう。

①

10000

$\text{cm}^2 = 1 \text{ m}^2$

②

10000

$\text{m}^2 = 100 \text{ a} = 1 \text{ ha}$

(3) 次の にあてはまる単位を書きましょう。

① 教科書の面積

約 460 cm^2

② 運動場の面積

約 20000 m^2

③ 千葉県の面積

約 5156 km^2

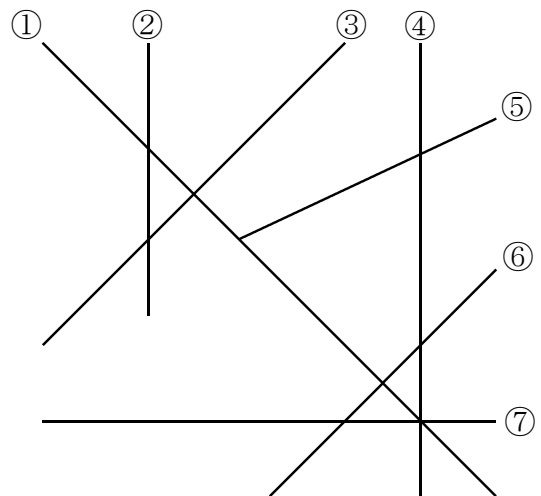
- 1 右の図を見て、次の問いに答えましょう。
三角じょうぎをあててたしかめてみましょう。
(1) ⑦と垂直な直線はどれとどれでしょう。

答え () と ()

- (2) 平行な直線は、どれとどれでしょう。

答え () と ()

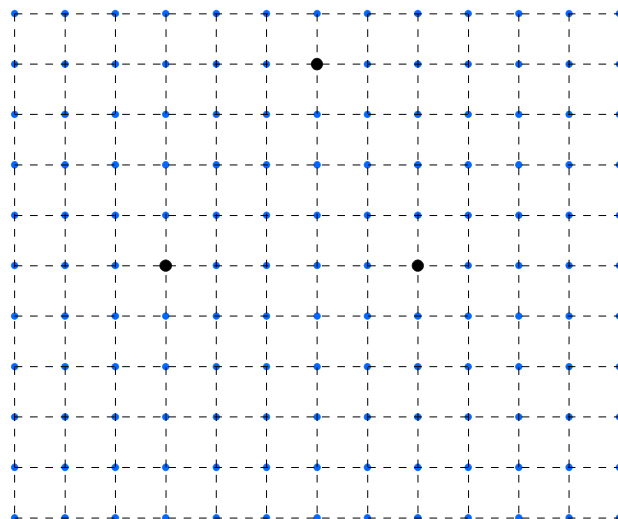
() と ()



- 2 四角形の対角線の特ちょうを表にまとめました。いつでもあてはまるところに、○を書きましょう。

特ちょう \ 名前	台形	平行四辺形	ひし形	長方形	正方形
2本の対角線の長さが等しい					
2本の対角線がそれぞれの真ん中の点で交わる					
2本の対角線が垂直である					

- 3 次の図で、3点を頂点とする平行四辺形を、1つかきましょう。
また、平行四辺形が、いくつできるか考えてみましょう。



小4 算数「垂直・平行と四角形」かい答・かい説

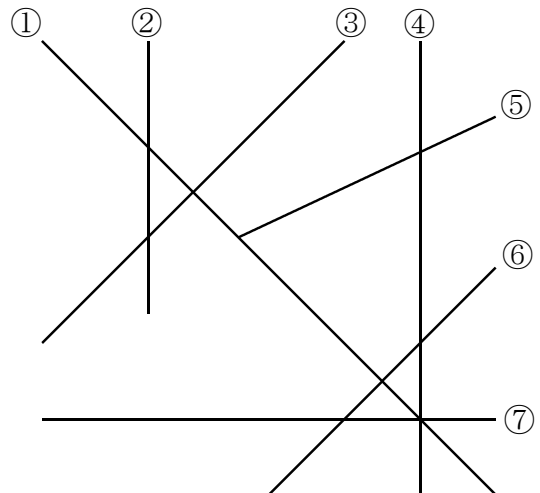
- 1 右の図を見て、次の問いに答えましょう。
三角じょうぎをあててたしかめてみましょう。
(1) ⑦と垂直な直線はどれとどれでしょう。

答え (②) と (④)

- (2) 平行な直線は、どれとどれでしょう。

答え (②) と (④)

(③) と (⑥)

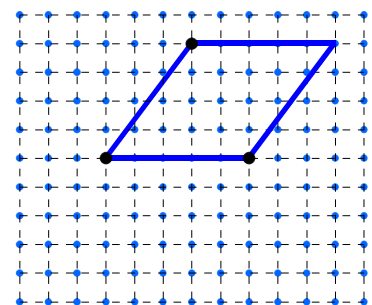
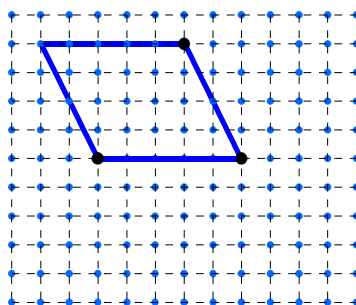
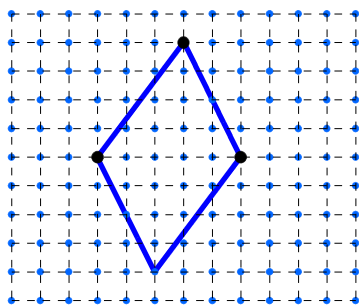


- 2 四角形の対角線の特ちょうを表にまとめました。いつでもあてはまるところに、○を書きましょう。

特ちょう \ 名前	台形	平行四辺形	ひし形	長方形	正方形
2本の対角線の長さが等しい				○	○
2本の対角線がそれぞれの真ん中の点で交わる		○	○	○	○
2本の対角線が垂直である			○		○

- 3 次の図で、3点を頂点とする平行四辺形を、1つかきましょう。
また、平行四辺形が、全部でいくつできるかかんがえてみましょう。

【かい説】平行四辺形は、下の図のように、3つかくことができます。



- 1 立方体と直方体について、辺、面、ちょう点の数がそれぞれいくつありますか。
次の表に、数をかきましょう。

	辺の数	面の数	ちょう点の数
立方体			
直方体			

- 2 図のような展開図^{てんかいず}を組み立てたときにできる、直方体について、次の問いに答えましょう。

(1) 面②に平行な面はどれですか。

答え

(2) 面①に垂直な面はどれですか。すべて答えましょう。

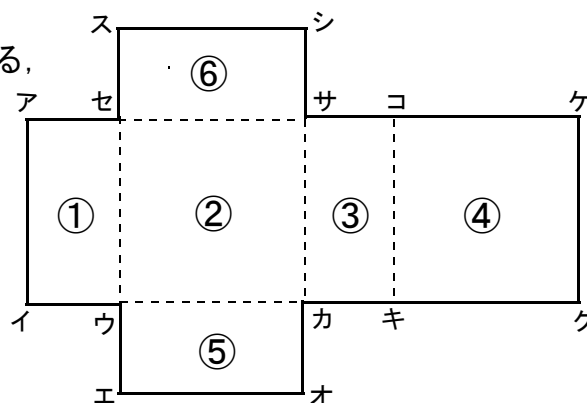
答え

(3) 辺アイと平行な辺はどれですか。すべて答えましょう。

答え

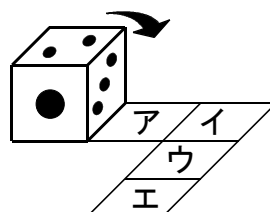
(4) 辺エオと重なる辺はどれですか。

答え



- 3 図のようにサイコロを、アからエの位置まできがしていきます。サイコロがエの位置にきたとき、上の面の目はいくつになりますか。ただし、サイコロは、向かい合う面の目をたすと7になります。

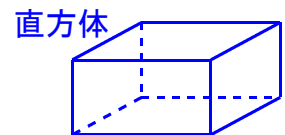
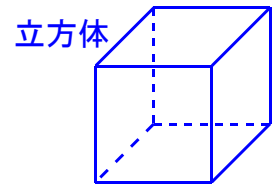
答え



小4 算数「直方体と立方体」かい答・かい説

1 立方体と直方体について、辺、面、ちょう点の数がそれぞれいくつありますか。
次の表に、数をかきましょう。

	辺の数	面の数	ちょう点の数
立方体	12	6	8
直方体	12	6	8



【かい説】立方体と直方体の見取図をかいて、確かめましょう。

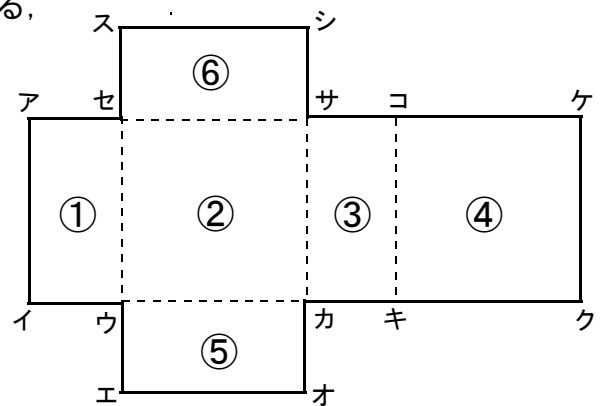
2 図のような展開図を組み立てたときにできる、
直方体について、次の問いに答えましょう。

(1) 面②に平行な面はどれですか。

答え 面④

(2) 面①に垂直な面はどれですか。すべて
答えましょう。

答え 面② 面④ 面⑤ 面⑥



(3) 辺アイと平行な辺はどれですか。すべて答えましょう。

答え 辺セウ 辺サカ 辺コキ
(ウセ) (カサ) (キコ)

(4) 辺エオと重なる辺はどれですか。

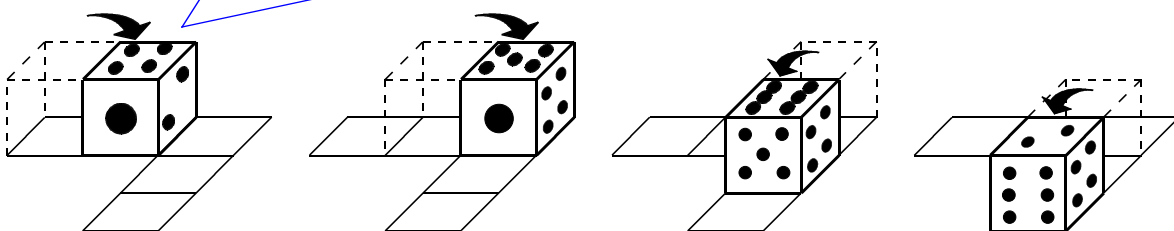
答え 辺クキ
(キク)

辺ケクは、組み立てると辺アイと重なってしまいます。

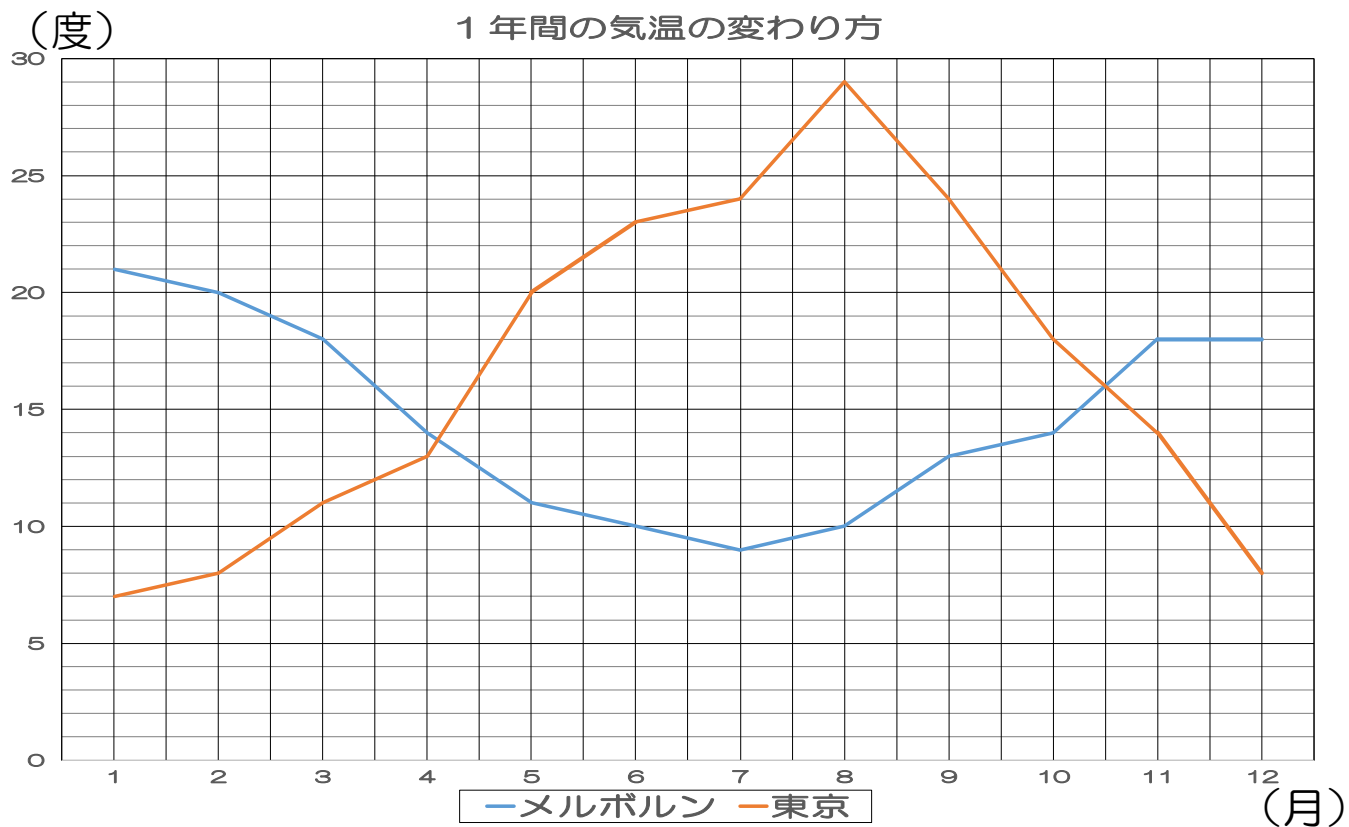
3 図のようにサイコロを、アからエの位置までころがしていきます。サイコロがエの位置にきたとき、上の面の目はいくつになりますか。ただし、サイコロは、向かい合う面の目をたすと7になります。

サイコロをころがして、考えてみましょう。

答え 2



- 1 下のグラフは、東京（日本）とメルボルン（オーストラリア）の1年間の気温の変わり方を折れ線グラフに表したものです。（参考資料：気象庁ホームページ）



- (1) たてのじくと横のじくは、何を表しているでしょうか。

たてのじく () 横のじく ()

- (2) 東京（日本）の最高気温は何月の何度でしょうか？

答え () 月, () 度

- (3) メルボルン（オーストラリア）の最低気温は何月の何度でしょうか？

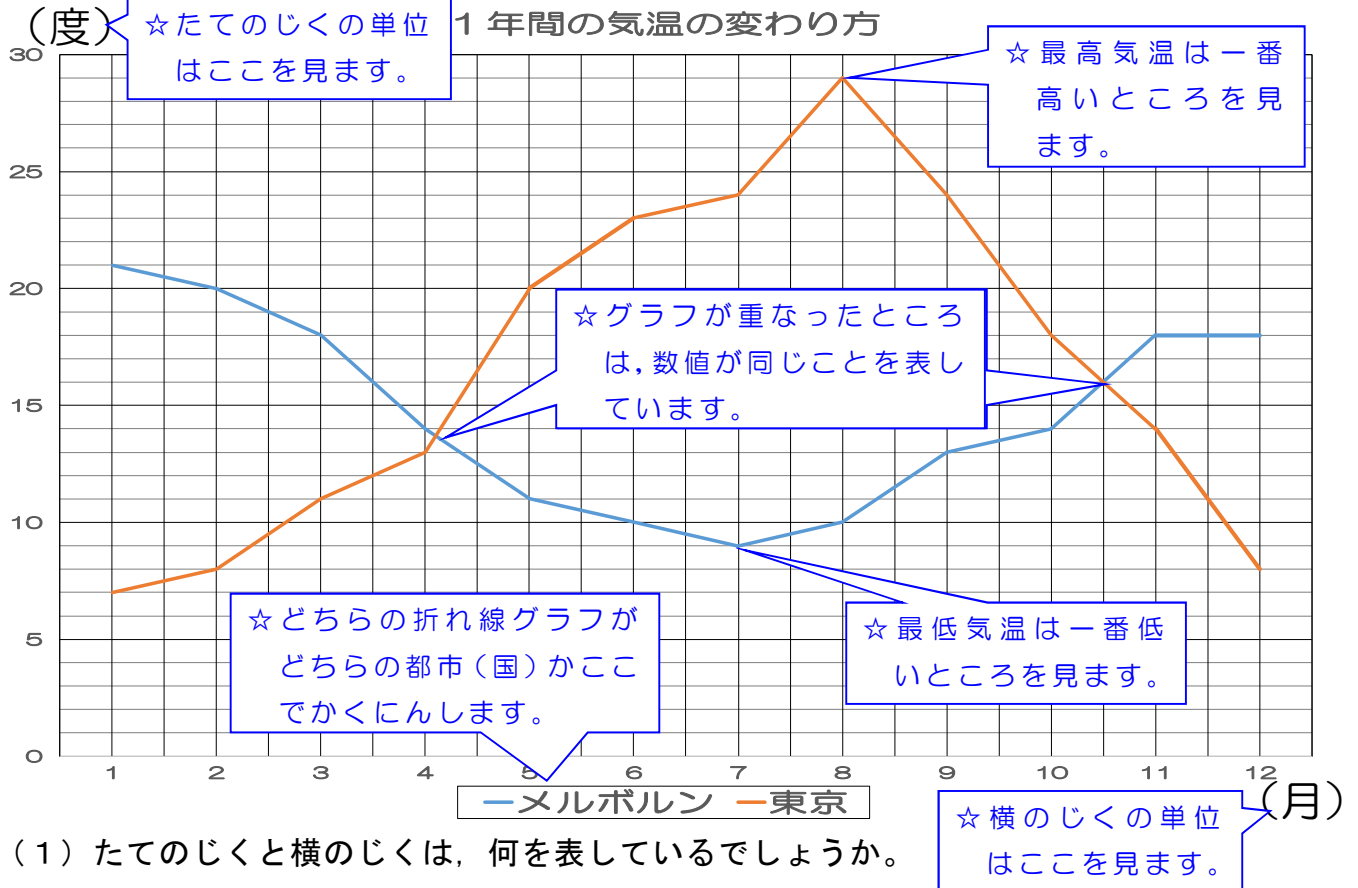
答え () 月, () 度

- (4) 東京（日本）とメルボルン（オーストラリア）の気温が同じになるのは、4月と5月の間と、何月と何月の間ですか？

答え () 月と () 月の間

小4 算数「折れ線グラフ」1 かい答・かい説

1 下のグラフは、東京（日本）とメルボルン（オーストラリア）の1年間の気温の変わり方を折れ線グラフに表したものです。（参考資料：気象庁ホームページ）



(1) たてのじくと横のじくは、何を表しているでしょうか。

たてのじく (気温) 横のじく (月)

(2) 東京（日本）の最高気温は何月の何度でしょうか？

答え (8) 月, (29) 度

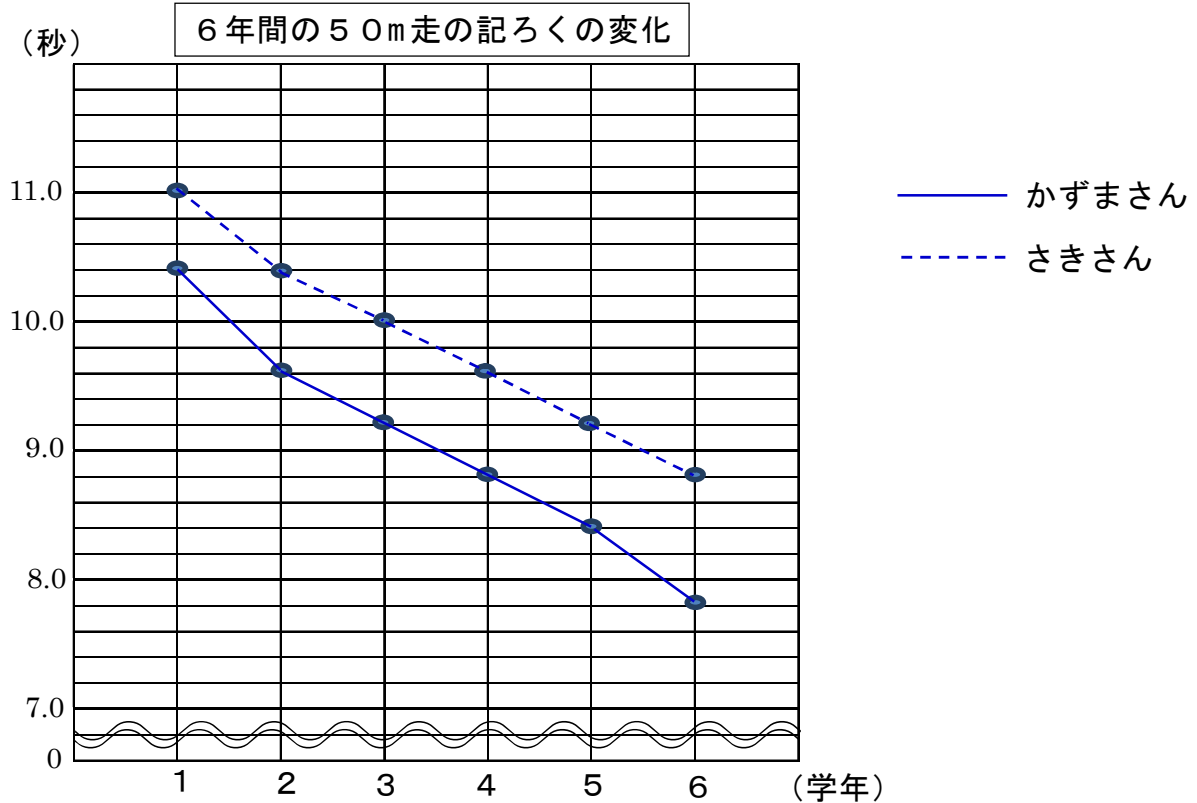
(3) メルボルン（オーストラリア）の最低気温は何月の何度でしょうか。

答え (7) 月, (9) 度

(4) 東京（日本）とメルボルン（オーストラリア）の気温が同じになるのは、4月と5月の間と、何月と何月の間ですか。

答え (10) 月と (11) 月の間

- 1 次の折れ線グラフは、かずまさんとさきさんの6年間の50m走の記録の変化を表したものです。



- (1) たてのじくの1めもりは、何秒を表しているでしょうか。

答え

- (2) 1年生から6年生までで、かずまさんの記録の変わり方がいちばん大きいのは、何年生から何年生の間でしょうか。

答え

- (3) 6年生の時の、かずまさんとさきさんの記録のちがいは何秒でしょうか。

答え

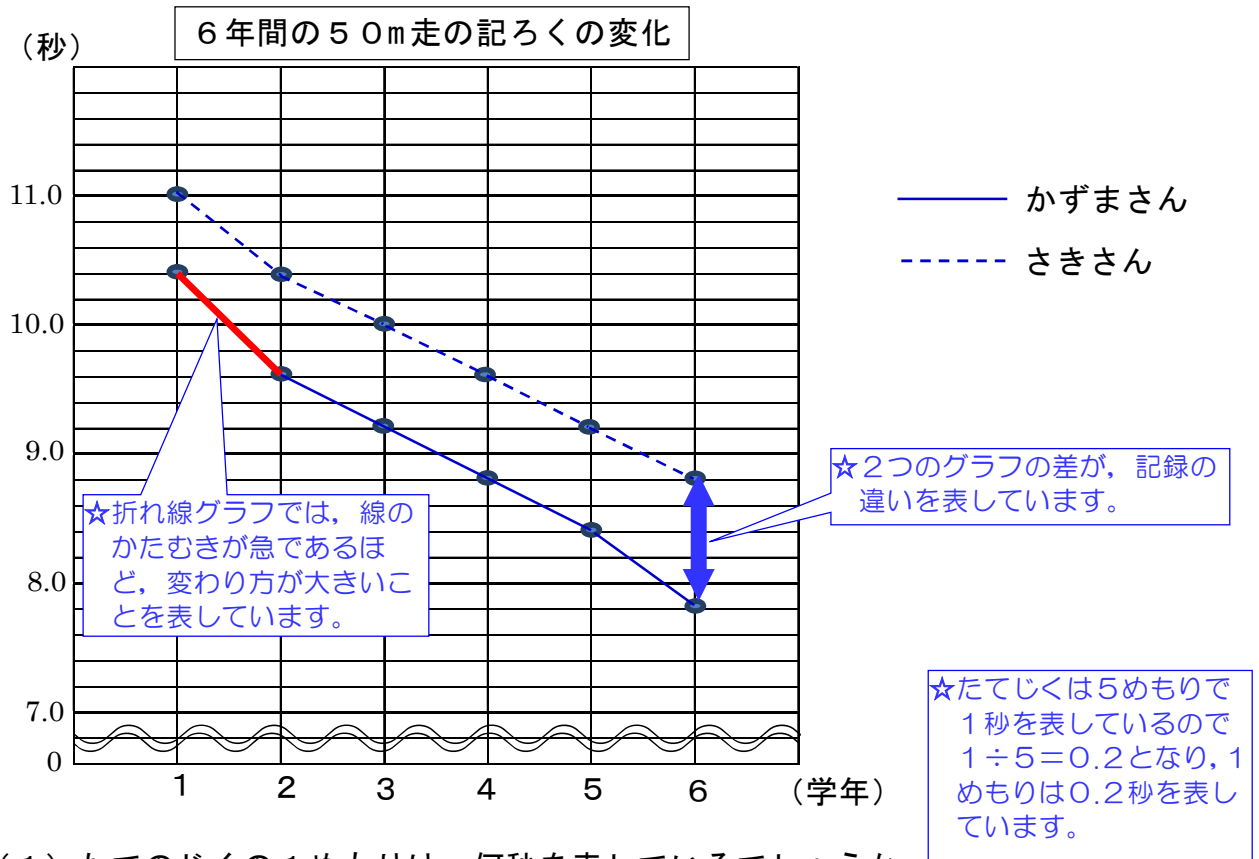
- 2 折れ線グラフに表すとよいものはどれでしょうか。すべてえらびましょう。

- ㊦ クラスのみんなのおこづかいの金があく
㊦ 一日の気温の変わり方
㊦ 学校で見つけた虫の種類と場所
㊦ 一週間ごとに調べたツルレイシのくきの長さ

答え

小4 算数「折れ線グラフ」2 かい答・かい説

- 1 次の折れ線グラフは、かずまさんとさきさんの6年間の50m走の記ろくの変化を表したものです。



- (1) たてのじくの1めもりは、何秒を表しているでしょうか。

答え 0.2秒

- (2) 1年生から6年生までで、かずまさんの記ろくの変り方がいちばん大きいのは、何年生から何年生の間でしょうか。

答え 1年生から2年生の間

- (3) 6年生の時の、かずまさんとさきさんの記ろくのちがいは何秒でしょうか。

答え 1秒

- 2 折れ線グラフに表すとよいものはどれでしょうか。すべてえらびましょう。

- ㊦ クラスのみんなのおこづかいの金があく
㊦ 一日の気温の変り方
㊦ 学校で見つけた虫の種類と場所
㊦ 一週間ごとに調べたツルレイシのくきの長さ

☆折れ線グラフは、変わっていくものの様子を表すのに適しています。

- 一日の体温の変化
- 毎年調べた体重や身長の変化
- 毎年調べた市や県の人口

答え ㊦ , ㊦

1 下の表は、さきさんの学校で、10月にけがをした人数を調べたものです。

場所と種類別のけが調べ（人）					
けがの種類 場 所	すりきず	切りきず	ねんざ	打ぼく	合 計
運動場	4	2	1	3	
体育館	1	0	5	2	
教 室	0	3	0	1	
階段	0	0	1	0	
合 計					

（1）表に合計を書き入れましょう。

（2）けがをした人がいちばん多い場所はどこでしょうか。

答え _____

（3）どんな場所でどんなけがをした人がいちばん多いでしょうか。

答え _____

2 かずまさんのクラスの29人について、犬とねこを飼っているかどうかを調べたら、
次のような結果になりました。
下の表を完成させましょう。

犬を飼っている人	・・・	15人
ねこを飼っている人	・・・	12人
犬もねこも飼っている人	・・・	7人

犬やねこを飼っている人調べ（人）			ねこ		合 計
			飼っている	飼っていない	
犬	飼っている				
	飼っていない				
合 計					

小4 算数「整理のしかた」1 かい答・かい説

- 1 下の表は、さきさんの学校で、10月にけがをした人数を調べたものです。

場所と種類別のけが調べ（人）

けがの種類 場 所	すりきず	切りきず	ねんざ	打撲	合 計
運動場	4	2	1	3	10
体育館	1	0	5	2	8
教 室	0	3	0	1	4
階だん	0	0	1	0	1
合 計	5	5	7	6	23

☆体育館でねんざをした人が5人で、いちばん多いことがわかります。

- (1) 表に合計を書き入れましょう。

【かい説】たての合計と横の合計の両方が等しくなるかたしかめましょう。

☆場所の合計を比べると、運動場でけがをした人が10人で、いちばん多いことがわかります。

- (2) けがをした人が、いちばん多い場所はどこでしょうか。

答え 運動場

- (3) どんな場所で、どんなけがをした人が、いちばん多いでしょうか。

答え 体育館でねんざをした人

- 2 かずまさんのクラスの29人について、犬とねこを飼っているかどうかを調べたら、次のような結果になりました。

下の表を完成させましょう。

犬を飼っている人・・・15人
ねこを飼っている人・・・12人
犬もねこも飼っている人・・・7人

犬やねこを飼っている人調べ（人）

		ねこ		合 計
		飼っている	飼っていない	
犬	飼っている	7	8	15
	飼っていない	5	9	14
合 計		12	17	29

☆はじめに、この4か所の人数が、わかります。
あとは、合計にあわせて数を入れましょう。

1 下の表は、ゆうたくんの学校の4年2組の図書館の利用の様子を調べたものです。

(1) 右のデータを見て、下の表に人数を書きましょう。

表①

先週	○	
	×	
今週	○	
	×	

(2) 右のデータを見て、下の表に人数を書きましょう。

表②

先週	今週	人数
○	○	
○	×	
×	○	
×	×	

(3) 右のデータを見て、下の表に人数を書きましょう。

表③

		今週		合 計
		借りた	借りていない	
先週	借りた			
	借りていない			
合 計				

(4) 先週も今週も本を借りた人がわかるのは、表①，表②，表③のどれでしょうか。

答え

(5) クラスの合計人数が、計算しなくても表を見てすぐわかるのは、表①，表②，表③のどれでしょうか。

答え

4年2組の図書室の利用の様子

出席番号	先週	今週
1	○	×
2	○	×
3	○	○
4	×	○
5	○	○
6	○	○
7	○	×
8	○	×
9	○	×
10	×	×
11	×	○
12	×	×
13	×	×
14	○	○
15	○	×
16	○	×
17	×	○
18	○	×
19	×	×
20	○	×
21	○	×
22	×	×
23	×	○
24	×	×
25	×	○
26	×	×
27	○	×
28	×	○
29	○	×
30	×	×

○…借りた

×…借りていない

小4 算数「整理のしかた」2 かい答・かい説

1 下の表は、ゆうたくんの学校の4年2組の図書館の利用の様子を調べたものです。

(1) 右のデータを見て、下の表に人数を書きましょう。

4年2組の図書室の利用

表①

先週	○	16
	×	14
今週	○	10
	×	20

☆ 表①は先週本を借りた人と今週本を借りた人の人数はわかりますが、2週間連続で借りたかどうかはわかりません。

(2) 右のデータを見て、下の表に人数を書きましょう。

表②

先週	今週	人数
○	○	4
○	×	12
×	○	6
×	×	8

(3) 右のデータを見て、下の表に人数を書きましょう。

表③

		今週		合 計
		借りた	借りていない	
先週	借りた	4	12	16
	借りていない	6	8	14
合 計		10	20	30

(4) 先週も今週も本を借りた人がわかるのは、表①
表②、表③のどれでしょうか。

答え 表②、 表③

(5) クラスの合計人数が、計算しなくても表を見てすぐわかるのは、表①、表②、表③のどれでしょうか。

答え 表③

1	○	×
2	○	×
3	○	○
4	×	○
5	○	○
6	○	○
7	○	×
8	○	×
9	○	×
10	×	×
11	×	○
12	×	×
13	×	×
14	○	○
15	○	×
16	○	×
17	×	○
18	○	×
19	×	×
20	○	×
21	○	×
22	×	×
23	×	○
24	×	×
25	×	○
26	×	×
27	○	×
28	×	○
29	○	×
30	×	×

○…借りた

×…借りていない

【かい説】 表にはそれぞれ特ちょうがありますので、気を付けて活用するようにしましょう。

1 全部で100ページの本があります。次の問いに答えましょう。

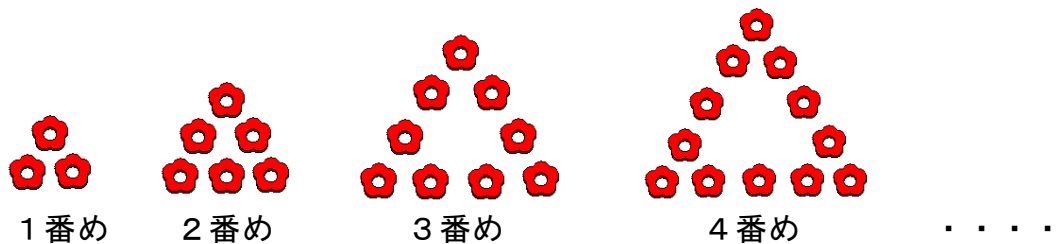
(1) 読んだ数と残りの数についての表を完成させましょう。

読んだ数 (ページ)	1	2	3				100
残りの数 (ページ)					58		

(2) 読んだ数を□ページ, 残りの数を○ページとして, □と○の関係を式に表しましょう。

答え

2 下の図のように, おはじきを正三角形にならべていきます。次の問いに答えましょう。



(1) おはじきの数を表に書きましょう。

ならべ方 (番め)	1	2	3	4	5	6	7	
おはじきの数 (こ)								

(2) ○番めのときのおはじきの数を□ことして, ○と□の関係を式に表しましょう。

答え

(3) 10番めのおはじきの数は, 何こでしょう。

答え

こ

(4) おはじきが45こになるのは, 何番めでしょう。

答え

番 め

小4 算数「変わり方」かい答・かい説

1 全部で100ページの本があります。次の問いに答えましょう。

(1) 読んだ数と残りの数についての表を完成させましょう。

読んだ数 (ページ)	1	2	3		42		100
残りの数 (ページ)	99	98	97		58		0

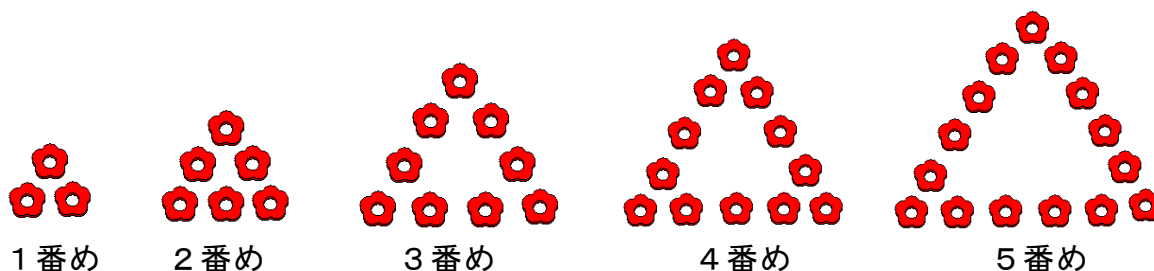
(2) 読んだ数を□ページ, 残りの数を○ページとして, □と○の関係を式に表しましょう。

答え $\square + \bigcirc = 100$
 $(\bigcirc = 100 - \square, \quad \square = 100 - \bigcirc)$

2 (1)

ならべ方 (番め)	1	2	3	4	5	6	7	
おはじきの数 (こ)	3	6	9	12	15	18	21	

【かい説】 おはじきの数は, 3 こずつふえていることがわかります。



(2) 答え $\bigcirc \times 3 = \square$

【かい説】

ならべ方 (番め)	1 $\times 3$	2 $\times 3$	3 $\times 3$	4 $\times 3$	5 $\times 3$	6 $\times 3$	7 $\times 3$	
おはじきの数 (こ)	3	6	9	12	15	18	21	

表をたてに見ると, $\bigcirc \times 3 = \square$ という関係がわかります。

(3) 答え 30こ

【かい説】 $\bigcirc \times 3 = \square$ の式の $\bigcirc$ に10を入れて, $10 \times 3 = 30$

(4) 答え 15番め

【かい説】 $\bigcirc \times 3 = \square$ の式の $\square$ に45を入れて, $\bigcirc \times 3 = 45$, $45 \div 3 = 15$

小4 算数「式と計算の順じょ」

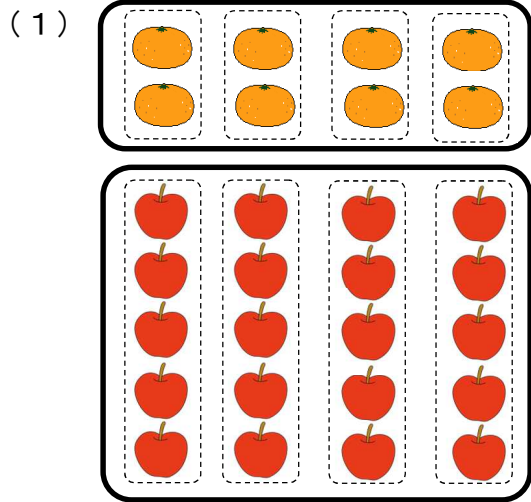
組 番 氏名

1 次の計算をしましょう。

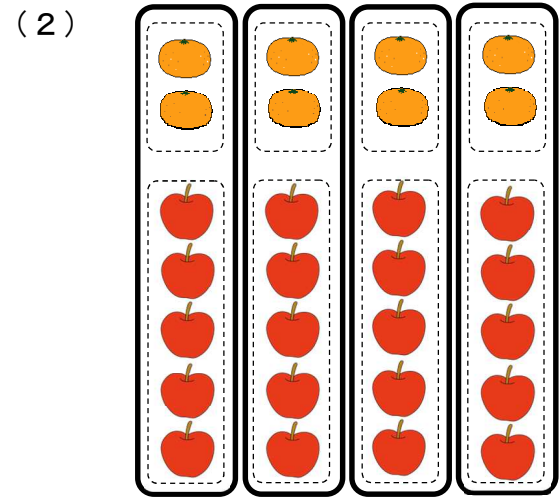
(1) $36 \div 6 \times (13 + 27)$

(2) $48 - 32 \div 8 \times 2$

2 みかんとりんごの個数の和を、次のように求めました。図にあう式を選び記号で答えましょう。



答え



答え

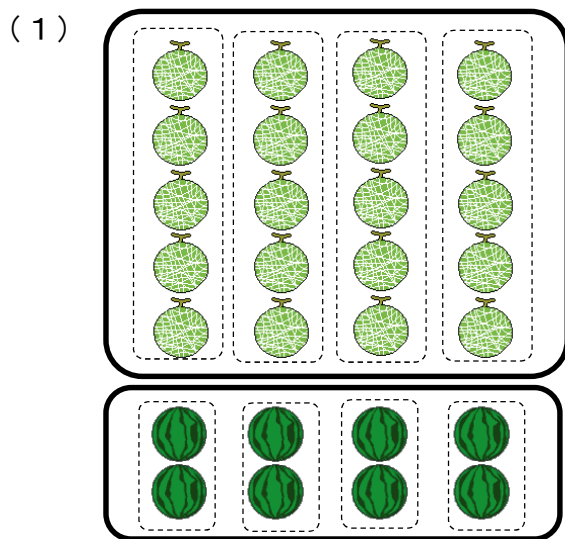
㊦ $4 \times 2 + 4 \times 5$

㊩ $2 \times 4 + 5 \times 4$

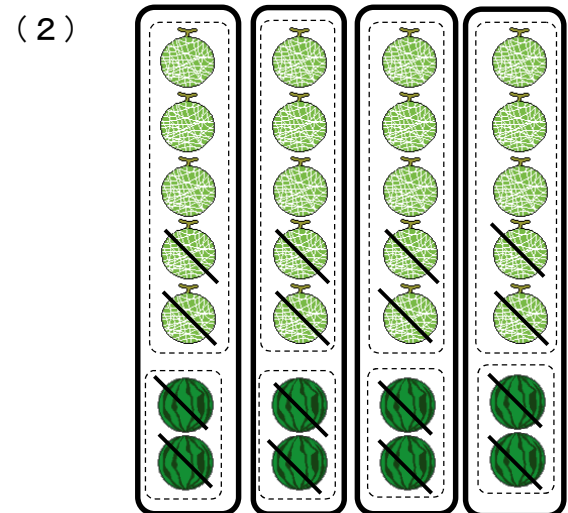
㊧ $(2 + 5) \times 4$

㊥ $4 \times (2 + 5)$

3 メロンとすいかの個数の差を、次のように求めました。図にあう式を選び記号で答えましょう。



答え



答え

㊦ $(5 - 2) \times 4$

㊩ $4 \times 7 - 4 \times 5$

㊧ $4 \times 5 - 4 \times 2$

㊥ $5 \times 4 - 2 \times 4$

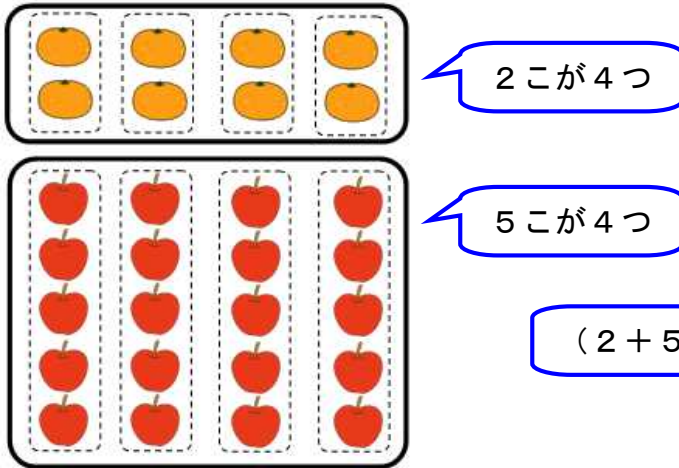
小4 算数「式と計算の順じょ」かい答・かい説

1 次の計算をしましょう。

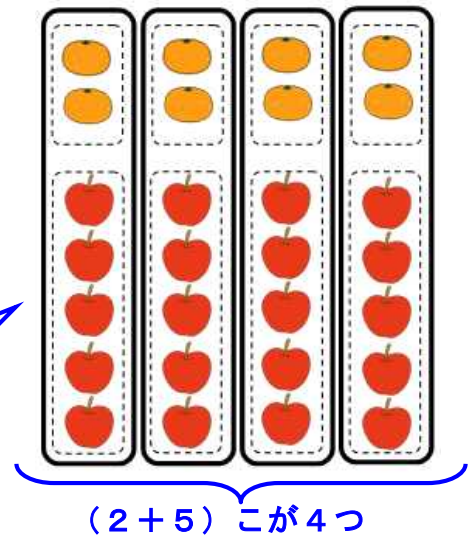
$$\begin{aligned} (1) \quad & 36 \div 6 \times (13 + 27) \\ & = 36 \div 6 \times 40 \quad \text{ここを先に計算} \\ & = 6 \times 40 \\ & = 240 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad & 48 - 32 \div 8 \times 2 \\ & = 48 - 4 \times 2 \quad \text{ここを先に計算} \\ & = 48 - 8 \\ & = 40 \end{aligned}$$

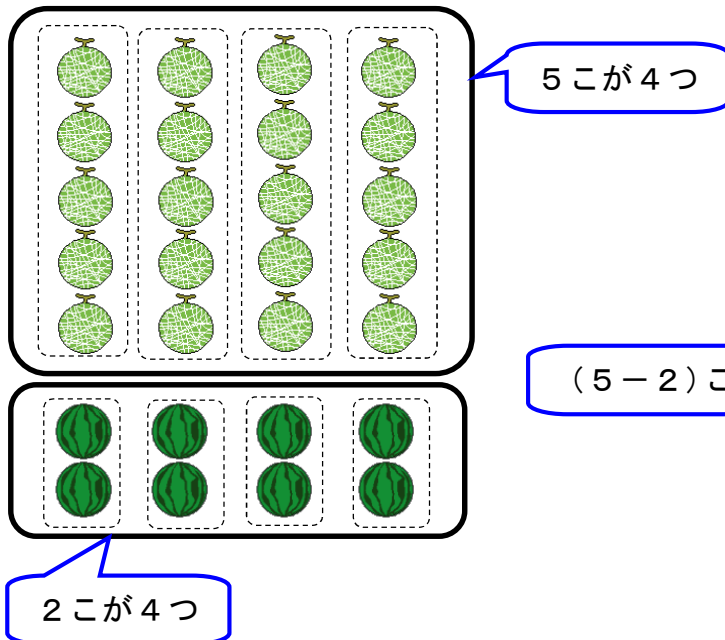
2 (1) 答え ㉠



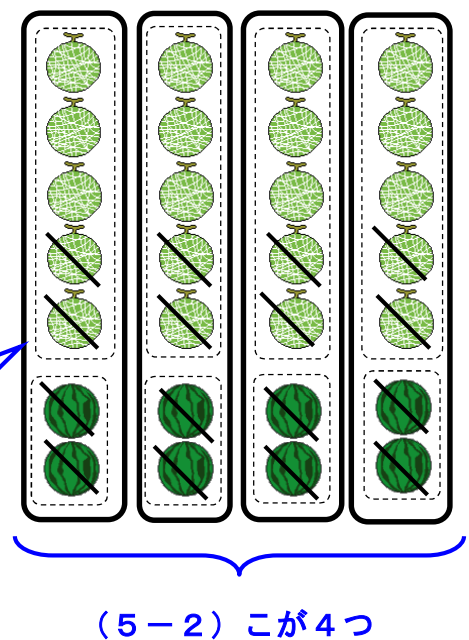
(2) 答え ㉡



3 (1) 答え ㉢



(2) 答え ㉣



【ふりかえり】

和・・・たし算の答え

差・・・ひき算の答え

積・・・かけ算の答え

商・・・わり算の答え